

# 子どもの就職に関する保護者の意識調査

## 報 告 書

### 目 次

I 調査の設計	1
II 回答サンプルの内訳	3
III 調査表	43

長野県上伊那地域振興局  
企画振興課

## I 調査の設計

### ◆ 調査の目的

近年、地方における若者の人材不足が課題となっている中、当局では、伊那職業安定協会や市町村、上伊那広域連合と連携し、Uターン就職の促進等に取り組んでいる。

経団連が 2021 年春入社以降の新卒者を対象として就職・採用活動のルールを廃止するなど、就職環境の変化が激しい中でも、多くの方に安心して地元就職を考えてもらえるよう、ニーズにあった支援策を導入する必要があると考える。

そこで、まずは大学生などの子どもがいる保護者に対して地元就職への意識を調査し、今後の施策等の基礎資料とすることを目的とする。

### ◆ 調査の設計

- ▽調査対象 上伊那郡在住の現在、大学・短大・専門学校に在学中のお子様がいる保護者  
613 人
- ▽調査方法 郵送
- ▽調査期間 令和 2 年 2 月 14 日～令和 2 年 2 月 27 日

### ◆ 回収結果

- ▽有効回答数 120 人（回収率 19.6%）

<注> 報告書のパーセント数字は小数点第 2 位を四捨五入。合計が 100 にならない場合がある。  
対象者が少ない回答は参考値である。

## ◆ アンケート結果のサマリー

今回のアンケートでは、上伊那郡在住の大学・短大・専門学校に在学中のお子様がいる保護者 613 人を対象に、地元就職について調査したアンケート結果を集計分析しました。

### 【企業】

新卒時、子どもが上伊那地域での就職を望む保護者は全体の約 76%と高い割合を占めている一方で、子どもの上伊那地域での就職希望は全体の半数程度（推測）にとどまっています。また、適する就職先がない、（地元以外の）いろいろな場所を知ってほしいとの意見も見受けられました。

経営の安定（約 21%）や大学等で学んだ専門性を活かせる職場（約 21%）、社風や雰囲気が良い職場（約 17%）を望む声も多い中で、企業としても、経営安定化、保護者や就職希望者へ向けた企業側の情報発信、企業見学（21.7%）等の実施に加え、魅力ある職場づくりも今後、さらに必要になると考えます。

### 【行政】

保護者の子どもに対する関心の高さ（99%以上）、就活イベントへの関心度の高さとは反対に、上伊那地域で開催されている就活イベントへの参加率は約 15%と低くなっていることから、保護者や子どもに向けた積極的なイベント等の開催や、それに向けた情報発信が必要になってくると考えます。

更に、魅力ある企業を育成するための地元企業への就職に関する支援、企業の経営安定や向上に向けた取組み等も必要になってくると考えます。

### 【保護者】

就職に対する考え方、価値観は保護者、子どもともにますます多様化しています。親子間の会話は約 78%と高い割合になっていますが、僅かではあります子どもの就職に関心がないといった意見もあります。

また、就職先は子どもに任せる（64.8%）という意見が多い一方で、上伊那地域で就職するよう説得する（4.5%）といった意見もありました。

保護者自信が地域企業の魅力を知り、子どもたちとのコミュニケーションを深めることが地元就職への第一歩であると考えます。

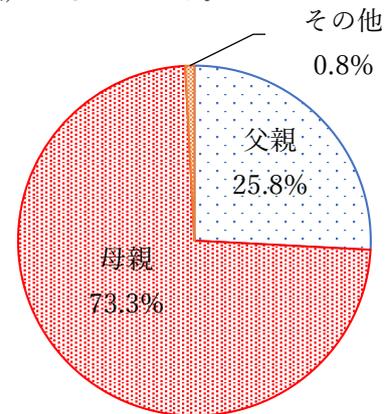
子どもの意思を尊重できる親子関係、地元への愛着心を育める親子関係を築いていくことが最も重要であると考えます。

## II 回答サンプルの内訳

【問1】本調査にご回答いただける方はどなたですか。

☆回答者の属性は『母親』(88人)、『父親』(31人)、『その他』(1人)となっている。

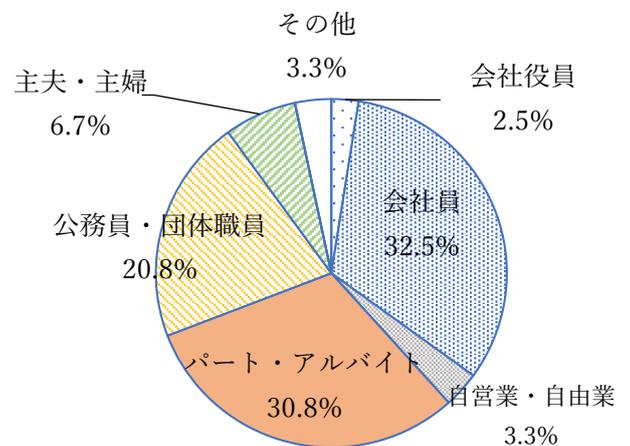
No	項目	回答数	割合
1	父親	31	25.8%
2	母親	88	73.3%
3	その他	1	0.8%
n 数		120	



【問2】ご回答いただける方のご職業は何ですか。

☆回答者の職業は『会社員』(39人)、『パート・アルバイト』(37人)、『公務員・団体職員』(25人)の順となっている。

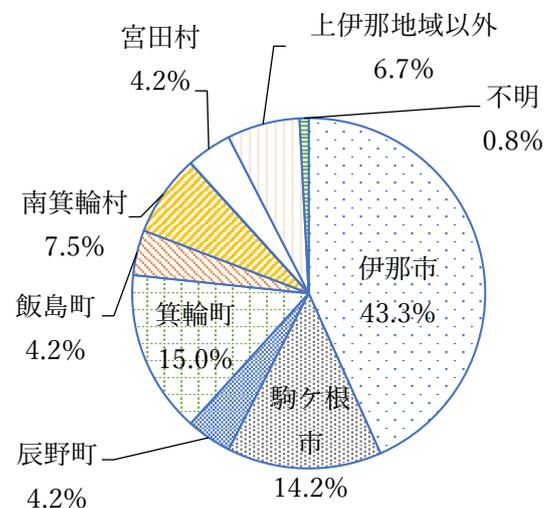
No	項目	回答数	割合
1	会社役員	3	2.5%
2	会社員	39	32.5%
3	自営業・自由業	4	3.3%
4	パート・アルバイト	37	30.8%
5	公務員・団体職員	25	20.8%
6	主夫・主婦	8	6.7%
7	無職	0	0.0%
8	その他	4	3.3%
n 数		120	



【問3】ご回答いただける方のお住まいの地域を選んでください。

☆回答者の居住地域は『伊那市』(52人)、『箕輪町』(18人)、『駒ヶ根市』(17人)の順となっている。

No	項目	回答数	割合
1	伊那市	52	43.3%
2	駒ヶ根市	17	14.2%
3	辰野町	5	4.2%
4	箕輪町	18	15.0%
5	飯島町	5	4.2%
6	南箕輪村	9	7.5%
7	中川村	0	0.0%
8	宮田村	5	4.2%
9	上伊那地域以外	8	6.7%
10	不明	1	0.8%
n 数		120	

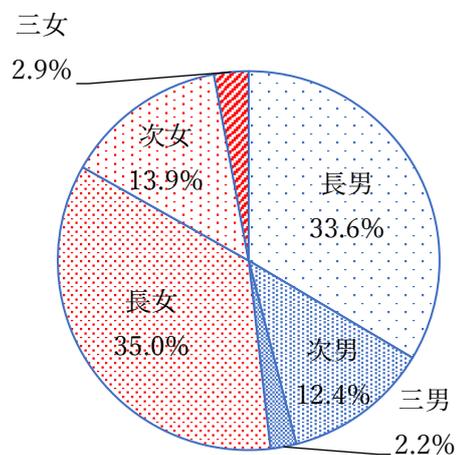


【問4】現在、在学中のお子様の、続柄、在学校、学部系統、学年、居住地域を選び、番号をご記入ください。

《続柄》

☆全体では『長女』（48人）が最も多く、次いで『長男』（46人）、『次女』（19人）の順となっている。  
 ☆個別では1人目『長女』（45人）、2人目『長男』『次男』（6人）、3人目『次男』『長女』（1人）が最も多くなっている。

No	項目	回答数	割合
1	長男	46	33.6%
2	次男	17	12.4%
3	三男	3	2.2%
4	長女	48	35.0%
5	次女	19	13.9%
6	三女	4	2.9%
7	その他	0	0.0%
n数		137	

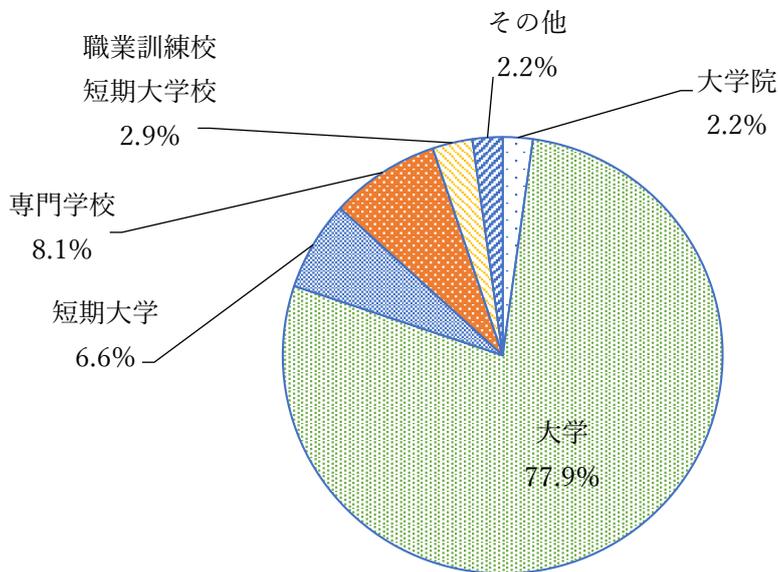


No	項目	1人目		2人目		3人目	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	長男	40	33.6%	6	37.5%	0	0.0%
2	次男	10	8.4%	6	37.5%	1	50.0%
3	三男	3	2.5%	0	0.0%	0	0.0%
4	長女	45	37.8%	2	12.5%	1	50.0%
5	次女	17	14.3%	2	12.5%	0	0.0%
6	三女	4	3.4%	0	0.0%	0	0.0%
7	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
n数		119		16		2	

《在学学校》

☆全体では『大学』(106人)が最も多く、次いで『専門学校』(11人)、『短期大学』(9人)の順となっている。

☆個別では1人目『大学』(98人)、2人目『大学』(7人)、3人目『大学』『その他』(1人)が最も多くなっている。



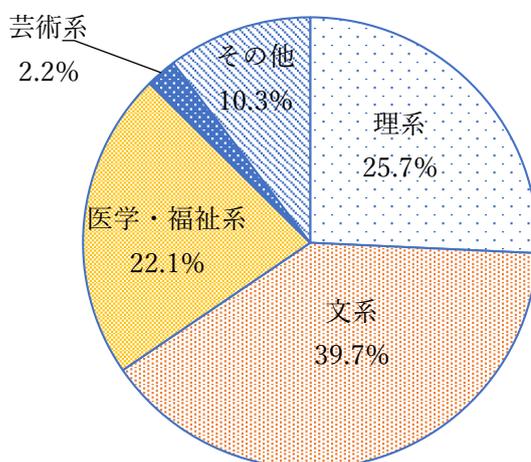
No	項目	回答数	割合
1	大学院	3	2.2%
2	大学	106	77.9%
3	短期大学	9	6.6%
4	専門学校	11	8.1%
5	職業訓練校 短期大学校	4	2.9%
6	その他	3	2.2%
n 数		136	

No	項目	1人目		2人目		3人目	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	大学院	2	1.7%	1	6.7%	0	0.0%
2	大学	98	82.4%	7	46.7%	1	50.0%
3	短期大学	7	5.9%	2	13.3%	0	0.0%
4	専門学校	9	7.6%	2	13.3%	0	0.0%
5	職業訓練校 短期大学校	3	2.5%	1	6.7%	0	0.0%
6	その他	0	0.0%	2	13.3%	1	50.0%
n 数		119		15		2	

《学部系統》

☆全体では『文系』(54人)が最も多く、次いで『理系』(35人)、『医学・福祉系』(30人)の順となっている。

☆個別では1人目『文系』(50人)、2人目『医学・福祉系』(5人)、3人目『医学・福祉系』『その他』(1人)が最も多くなっている。



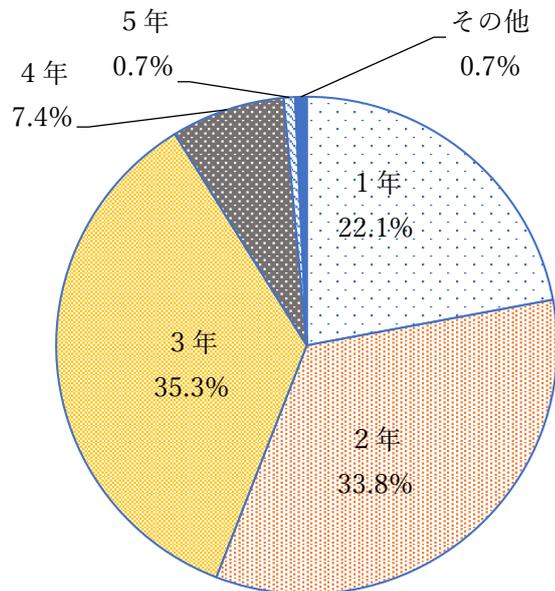
No	項目	回答数	割合
1	理系	35	25.7%
2	文系	54	39.7%
3	医学・福祉系	30	22.1%
4	芸術系	3	2.2%
5	その他	14	10.3%
n数		136	

No	項目	1人目		2人目		3人目	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	理系	31	26.1%	4	26.7%	0	0.0%
2	文系	50	42.0%	4	26.7%	0	0.0%
3	医学・福祉系	24	20.2%	5	33.3%	1	50.0%
4	芸術系	3	2.5%	0	0.0%	0	0.0%
5	その他	11	9.2%	2	13.3%	1	50.0%
n数		119		15		2	

《学年》

☆全体では『3年』（48人）が最も多く、次いで『2年』（46人）、『1年』（30人）の順となっている。

☆個別では1人目『3年』（45人）、2人目『1年』（8人）、3人目『1年』『2年』（1人）が最も多くなっている。



No	項目	回答数	割合
1	1年	30	22.1%
2	2年	46	33.8%
3	3年	48	35.3%
4	4年	10	7.4%
5	5年	1	0.7%
6	6年	0	0.0%
7	その他	1	0.7%
n数		136	

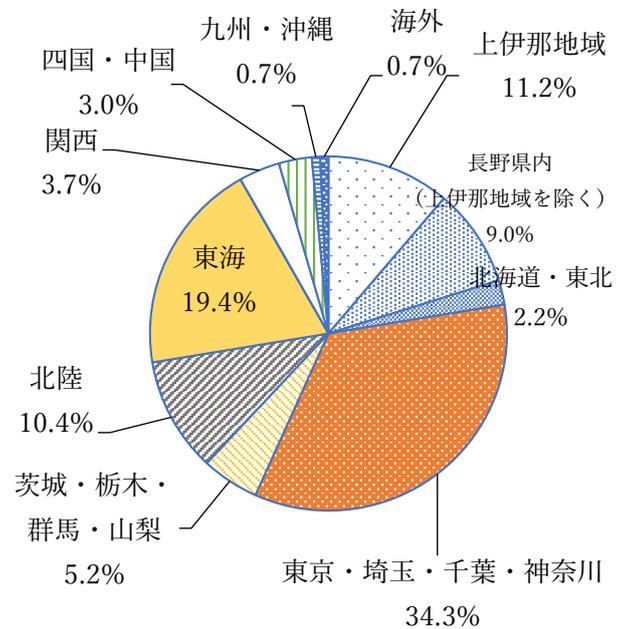
No	項目	1人目		2人目		3人目	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	1年	21	17.6%	8	53.3%	1	50.0%
2	2年	41	34.5%	4	26.7%	1	50.0%
3	3年	45	37.8%	3	20.0%	0	0.0%
4	4年	10	8.4%	0	0.0%	0	0.0%
5	5年	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
6	6年	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7	その他	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
n数		119		15		2	

《居住地域》

☆全体では『東京・埼玉・千葉・神奈川』（46人）が最も多く、次いで『東海』（26人）、『上伊那地域』（15人）の順となっている。

☆個別では1人目『東京・埼玉・千葉・神奈川』（45人）、2人目『東海』（6人）、3人目『上伊那地域』『北海道・東北』（1人）が最も多くなっている。

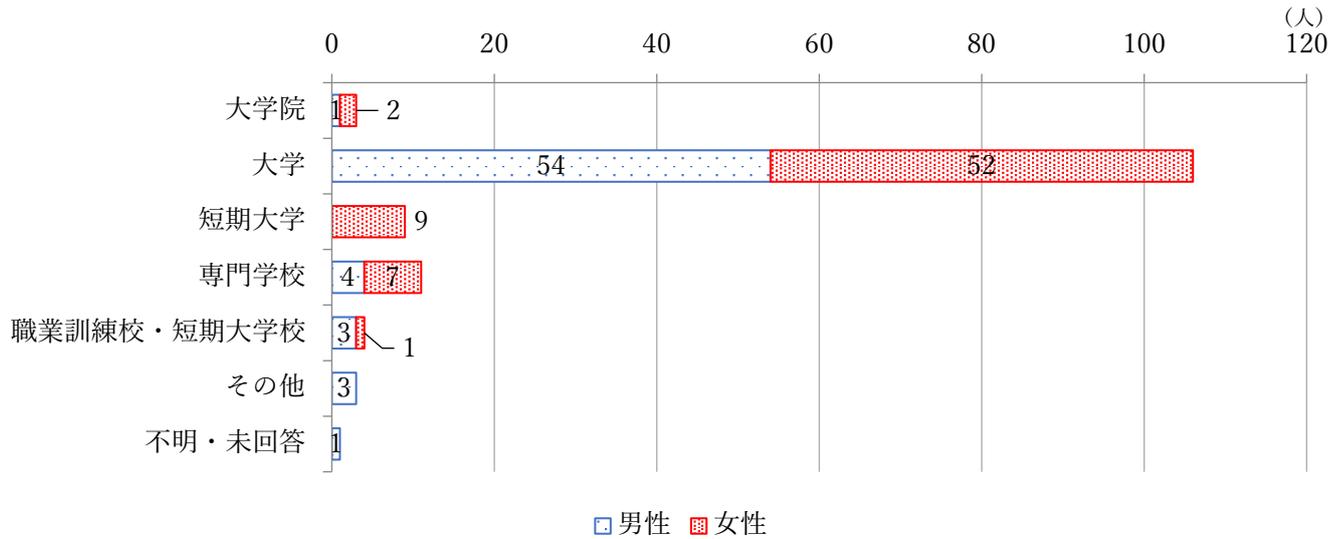
No	項目	回答数	割合
1	上伊那地域	15	11.2%
2	長野県内 (上伊那地域を除く)	12	9.0%
3	北海道・東北	3	2.2%
4	東京・埼玉・千葉・神奈川	46	34.3%
5	茨城・栃木・群馬・山梨	7	5.2%
6	北陸	14	10.4%
7	東海	26	19.4%
8	関西	5	3.7%
9	四国・中国	4	3.0%
10	九州・沖縄	1	0.7%
11	海外	1	0.7%
n 数		134	



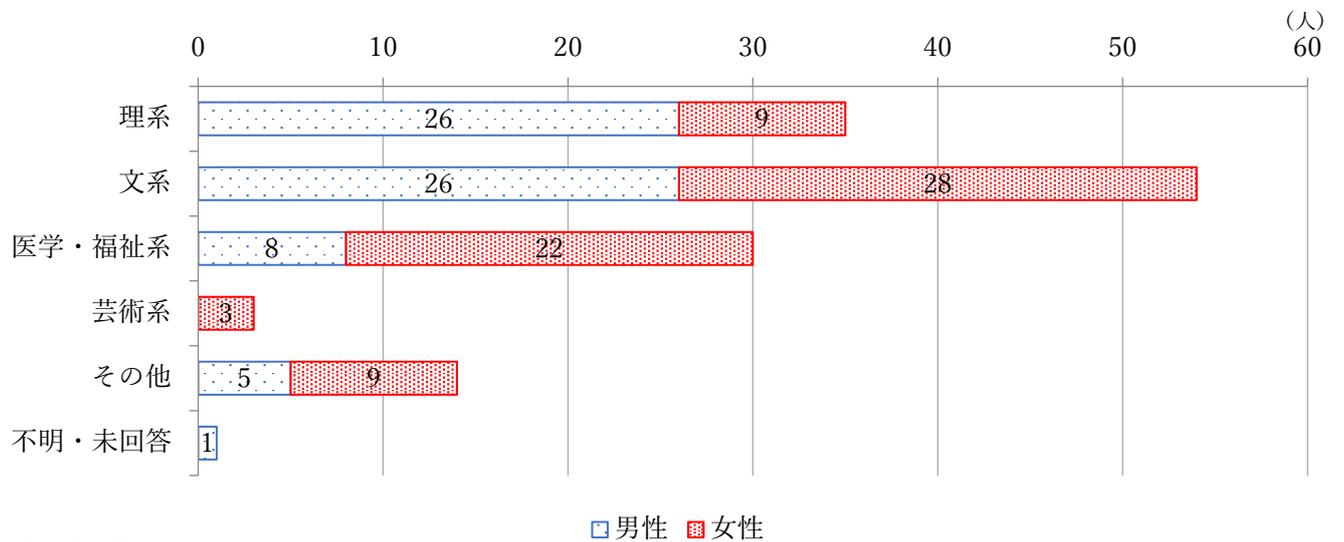
No	項目	1人目		2人目		3人目	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	上伊那地域	10	8.5%	4	28.6%	1	50.0%
2	長野県内 (上伊那地域を除く)	10	8.5%	2	14.3%	0	0.0%
3	北海道・東北	2	1.7%	0	0.0%	1	50.0%
4	東京・埼玉・千葉・神奈川	45	38.1%	1	7.1%	0	0.0%
5	茨城・栃木・群馬・山梨	7	5.9%	0	0.0%	0	0.0%
6	北陸	13	11.0%	1	7.1%	0	0.0%
7	東海	20	16.9%	6	42.9%	0	0.0%
8	関西	5	4.2%	0	0.0%	0	0.0%
9	四国・中国	4	3.4%	0	0.0%	0	0.0%
10	九州・沖縄	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
11	海外	1	0.8%	0	0.0%	0	0.0%
n 数		118		14		2	

【回答者の属性（クロス集計）】

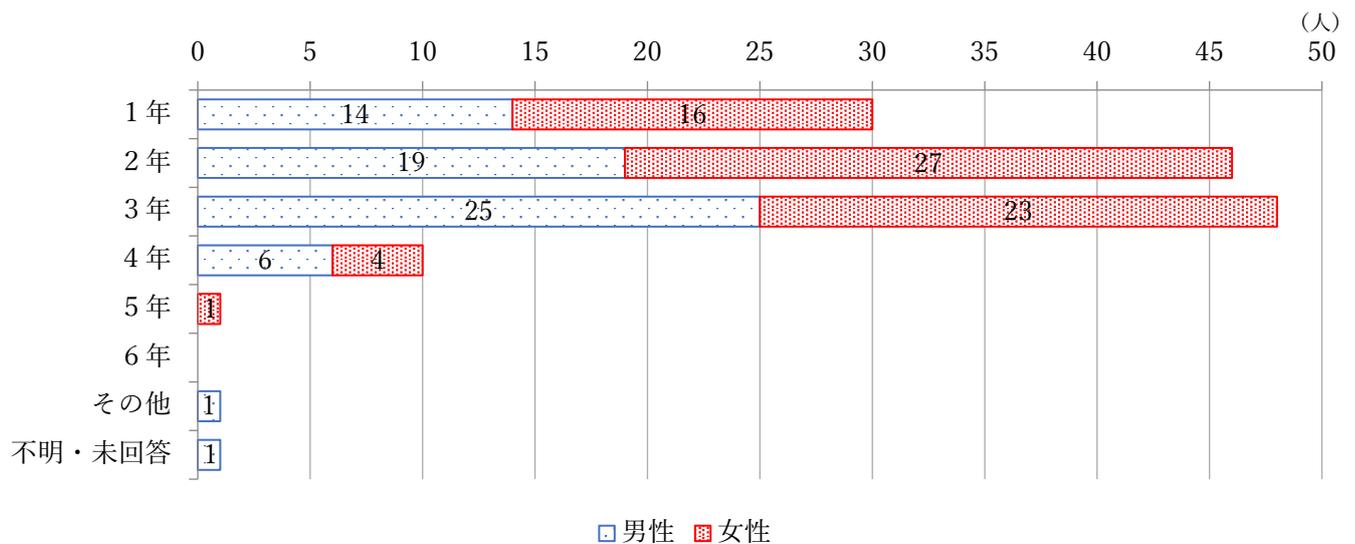
<性別×在学学校>



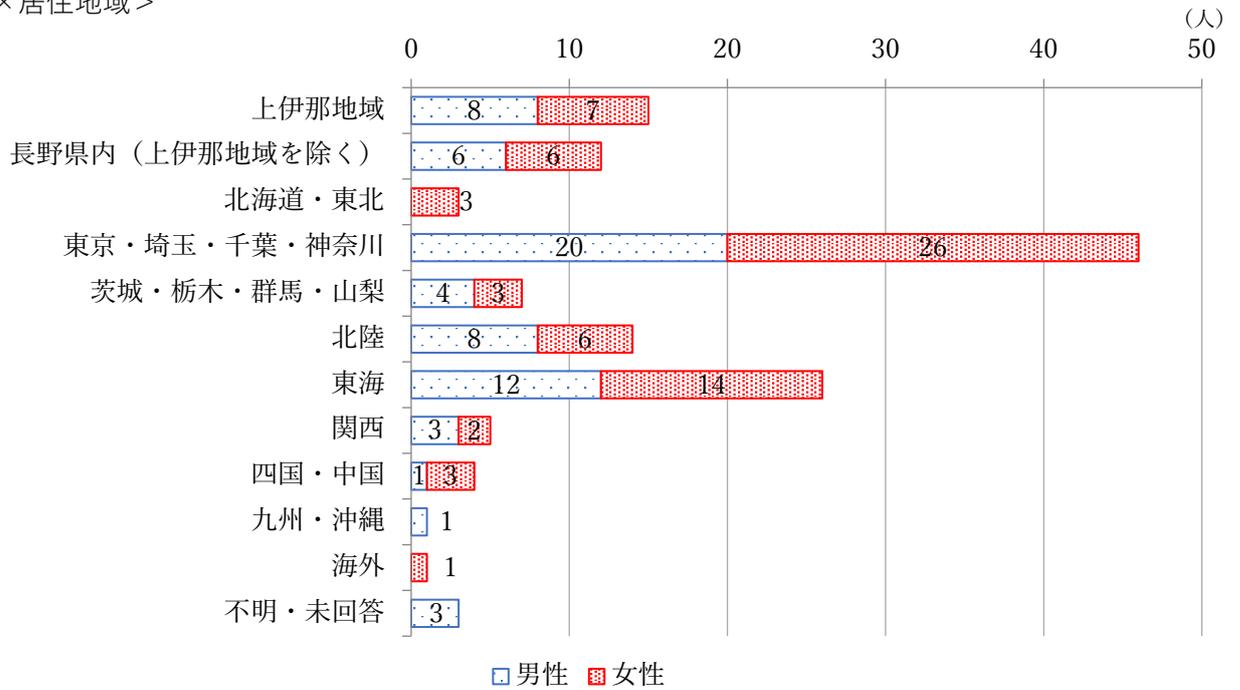
<性別×学部系統>



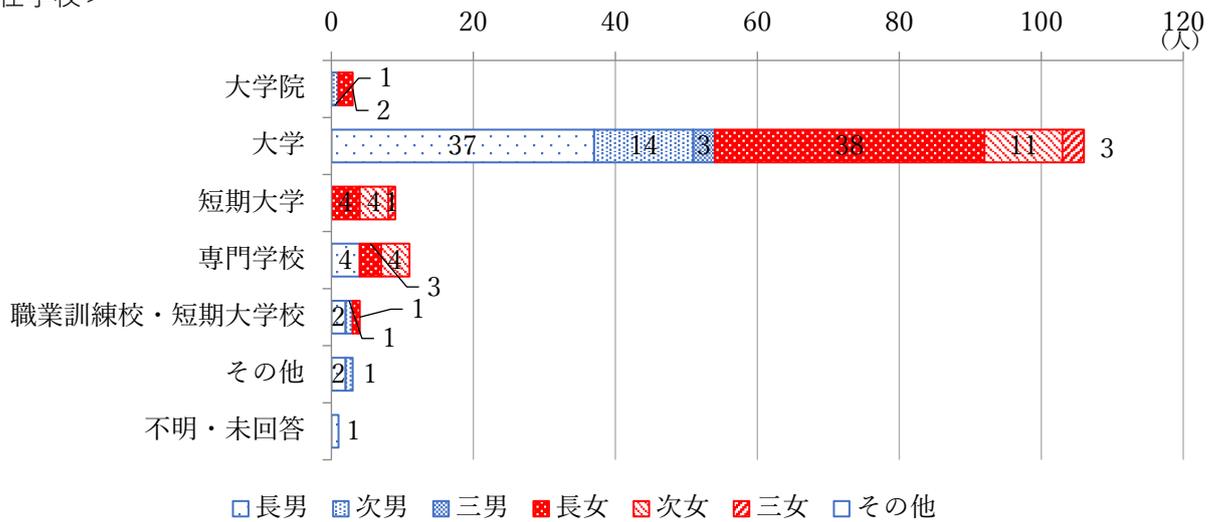
<性別×学年>



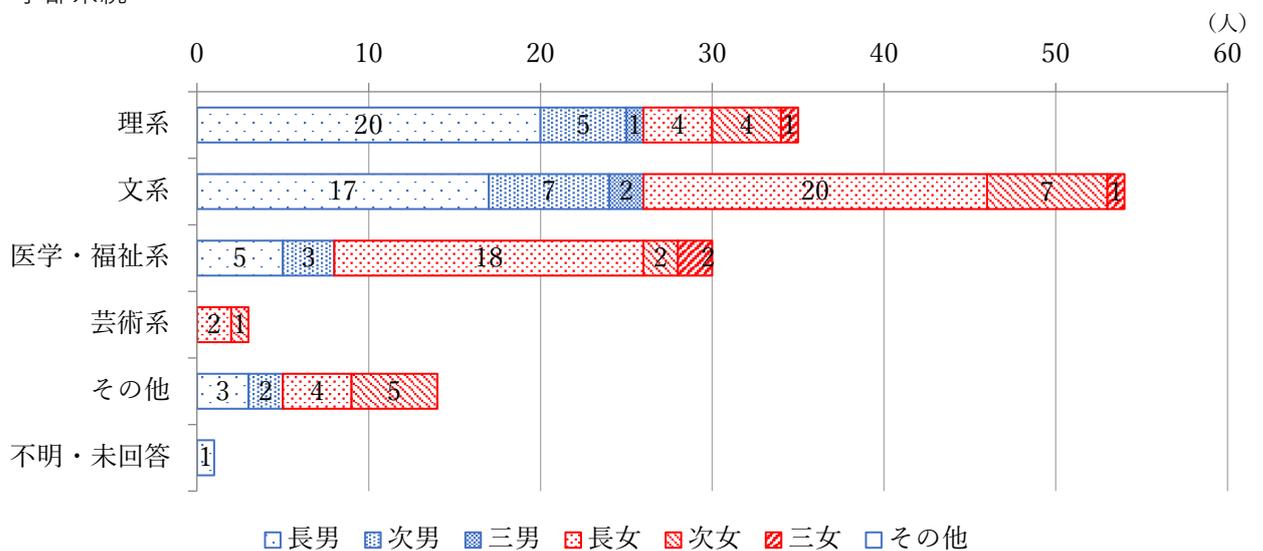
<性別×居住地域>



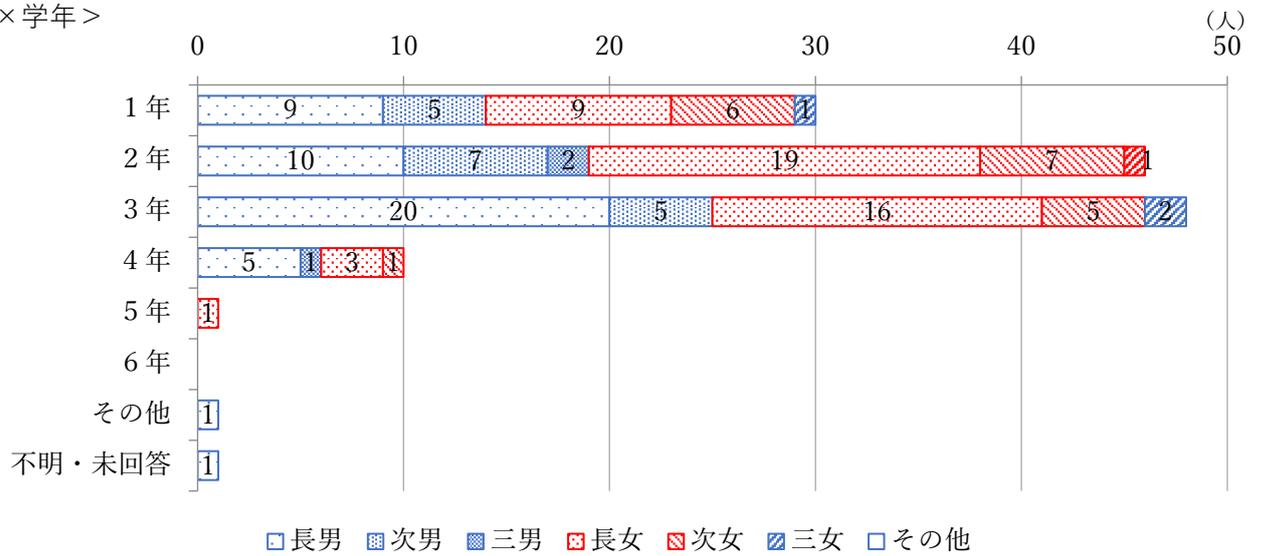
<続柄×在 schools>



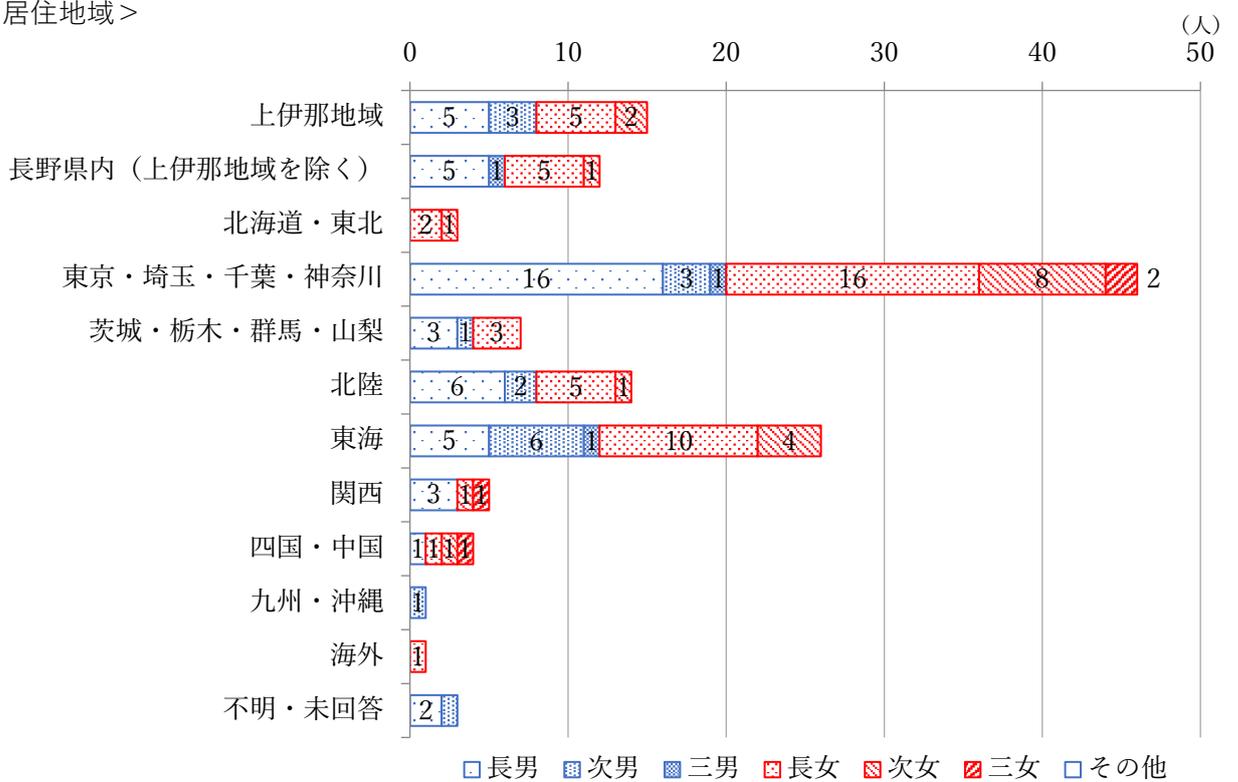
<続柄×学部系統>



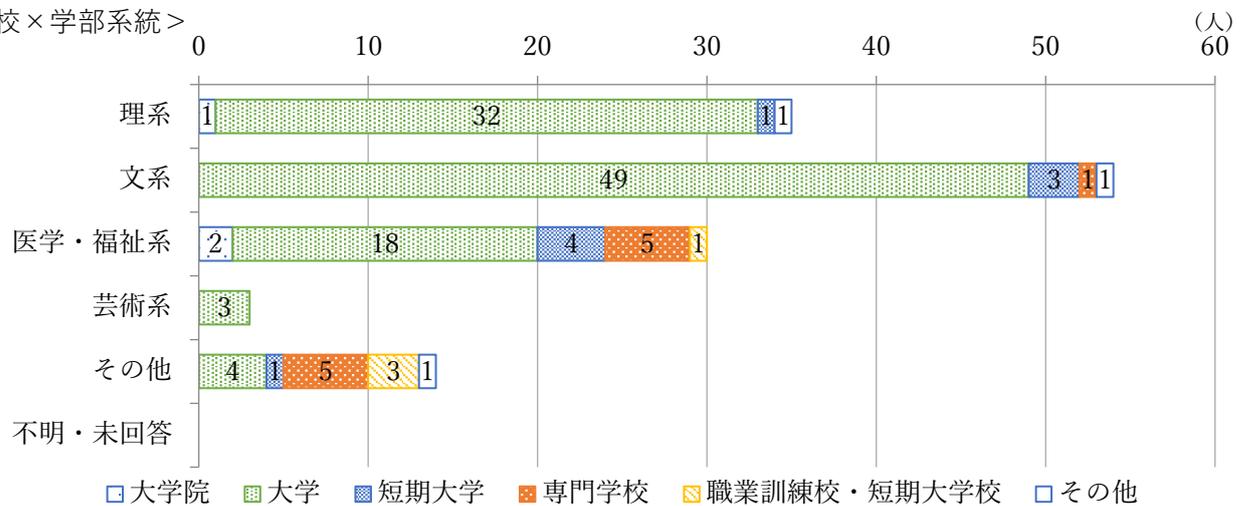
<続柄×学年>



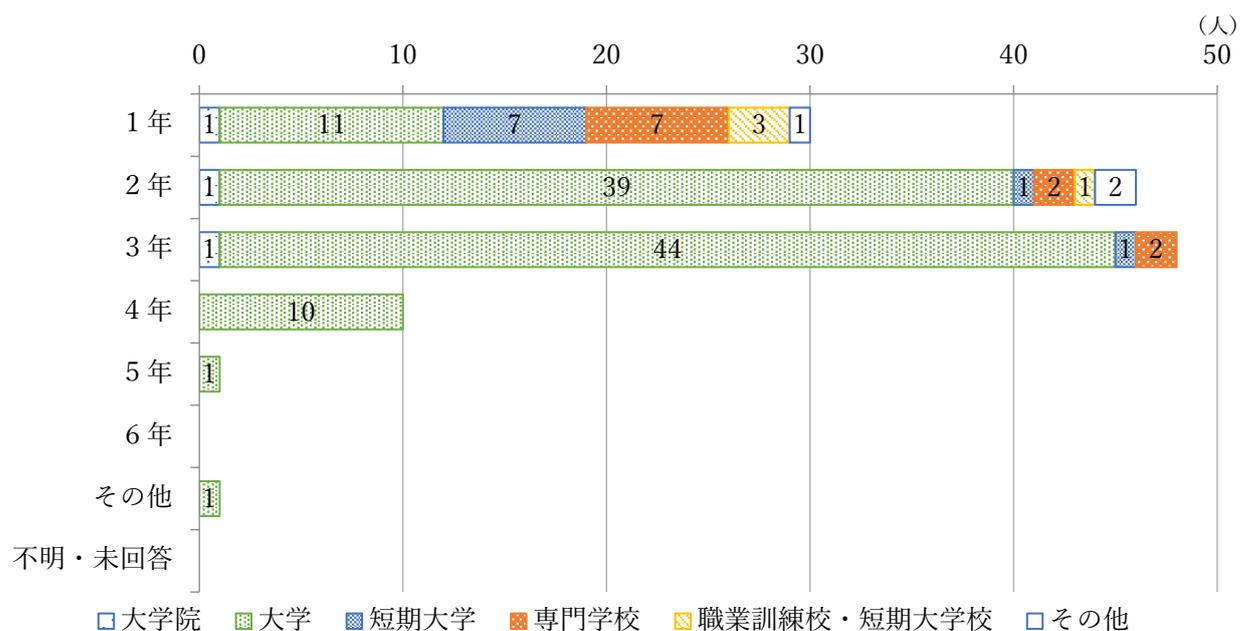
<続柄×居住地域>



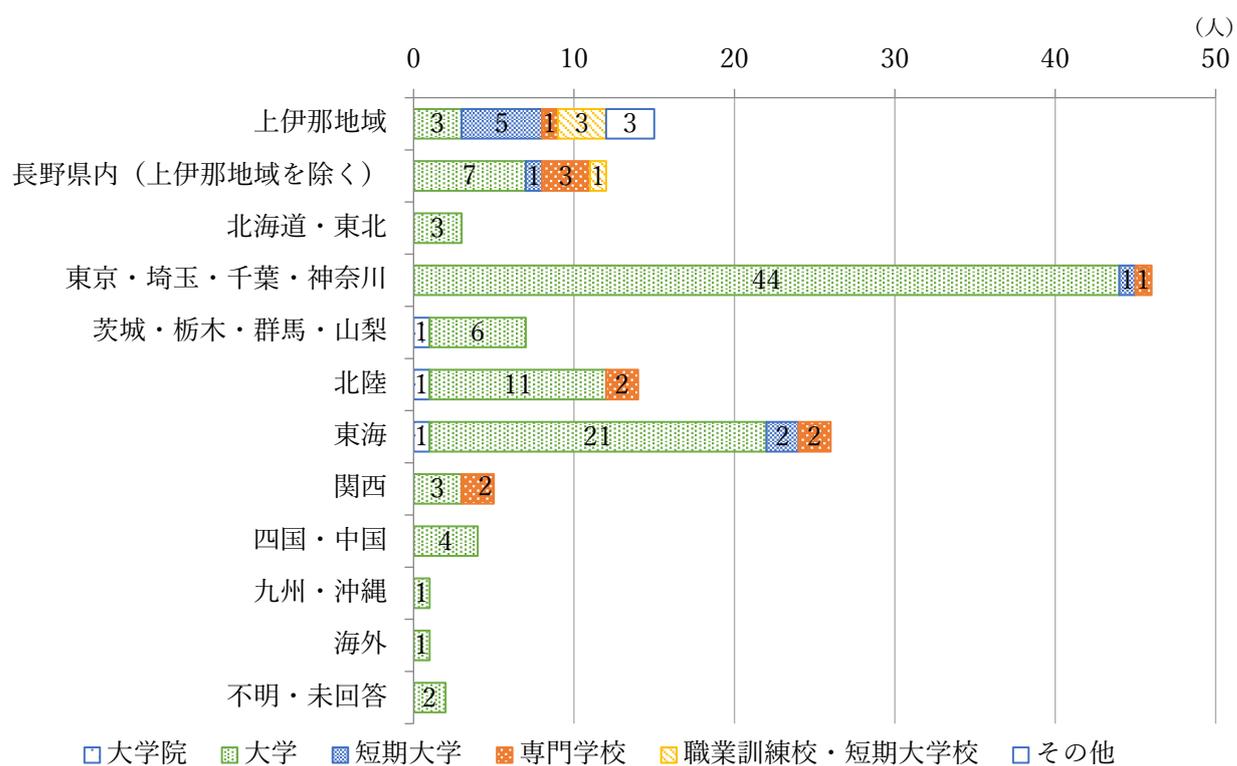
<在学学校×学部系統>



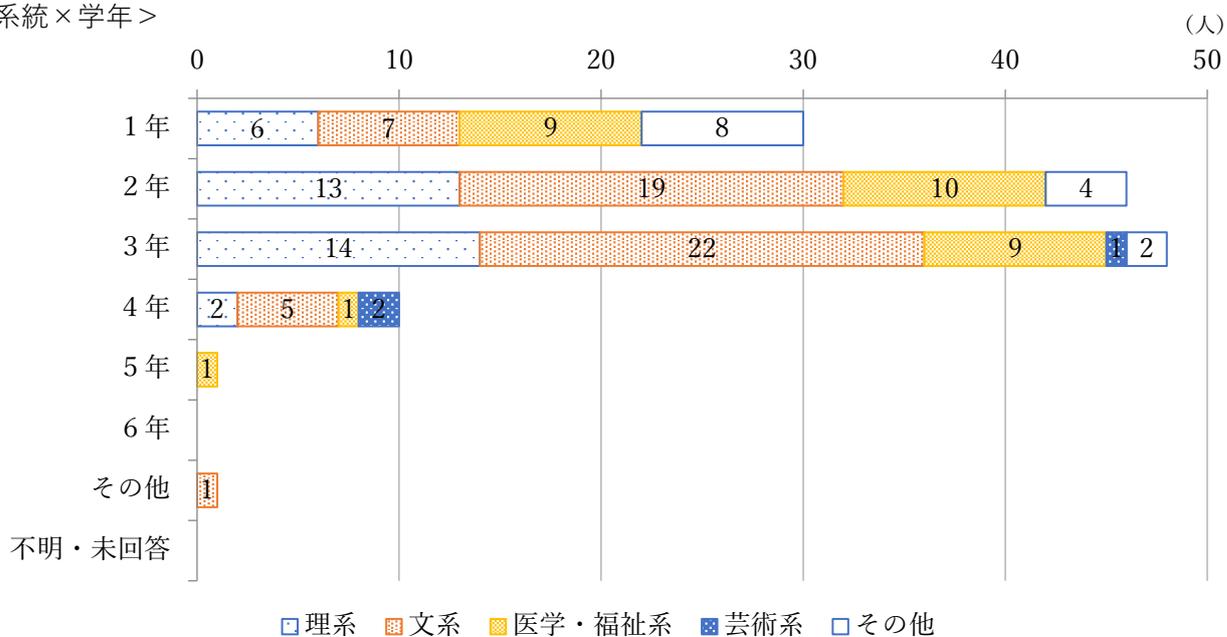
< 在学学校 × 学年 >



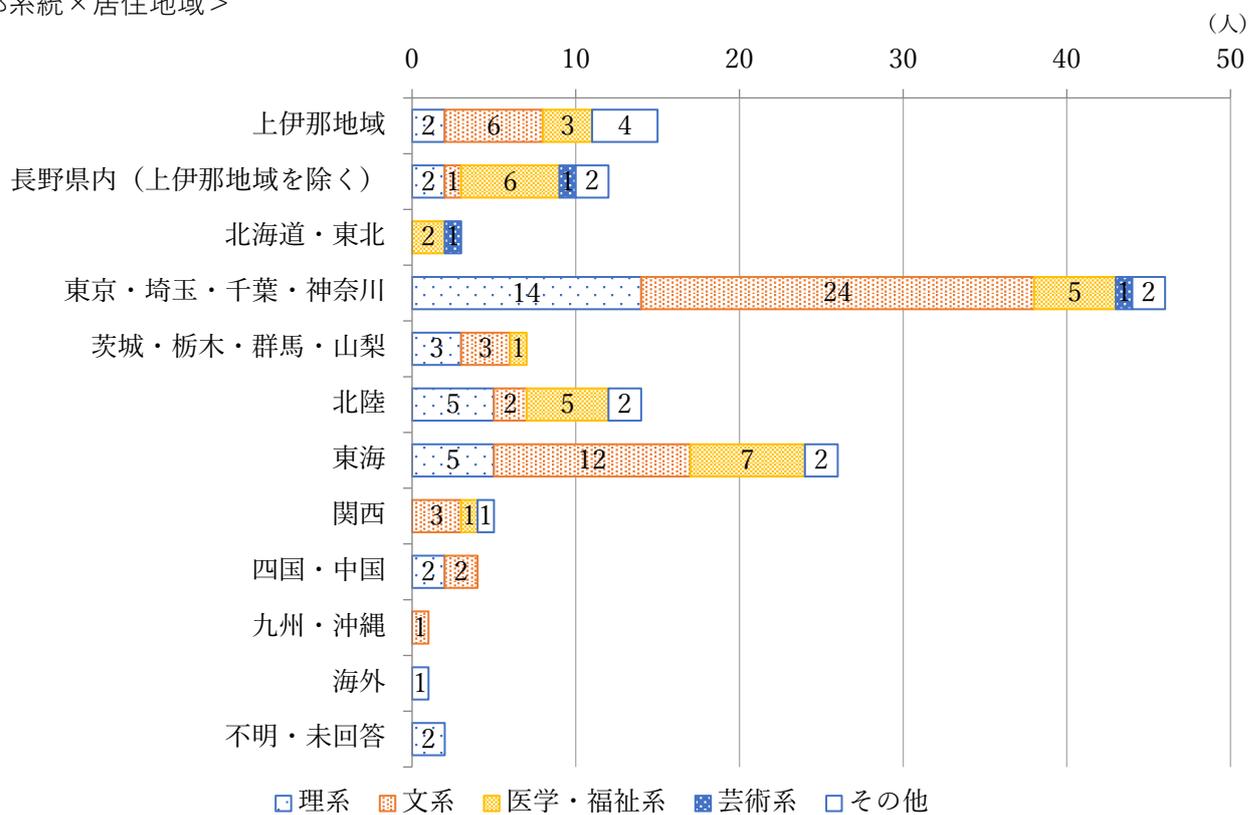
< 在学学校 × 居住地域 >



<学部系統×学年>



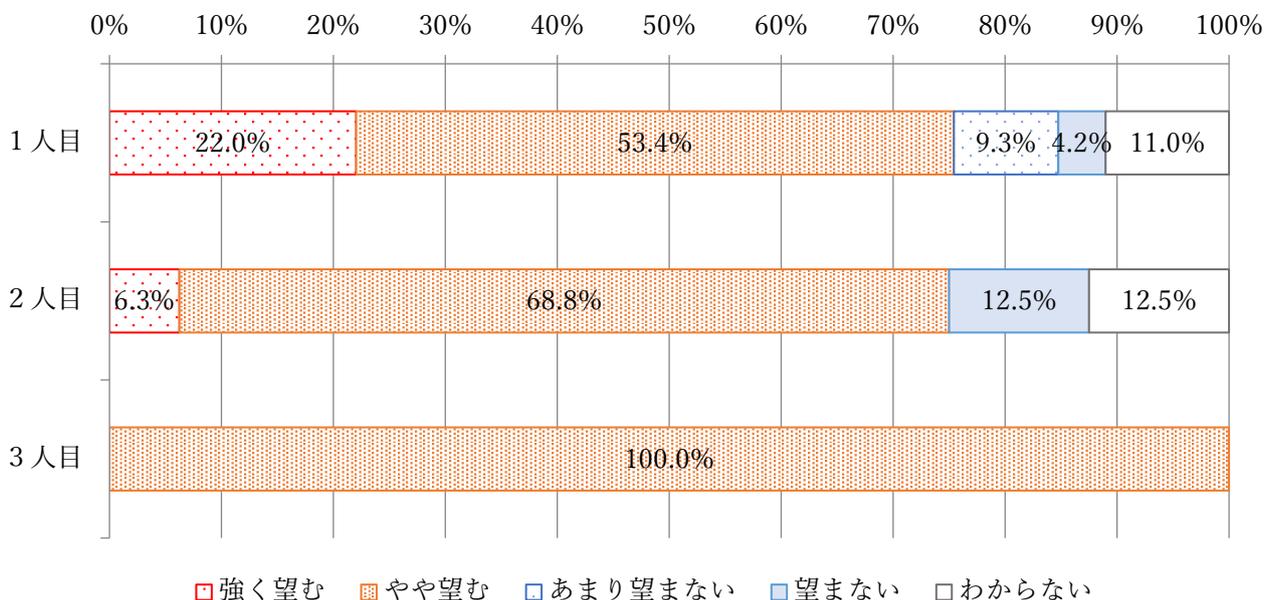
<学部系統×居住地域>



**【問5】 保護者として、新卒時、お子様の上伊那地域での就職を望みますか。**

☆1人目、2人目とも『強く望む』、『やや望む』が約75%を占めている。3人目は100%である。

☆『あまり望まない』、『望まない』も1人目、2人目とも約13%であることから、1人目、2人目とも保護者の地元就職に対する意識に大きな相違がないことがわかる。

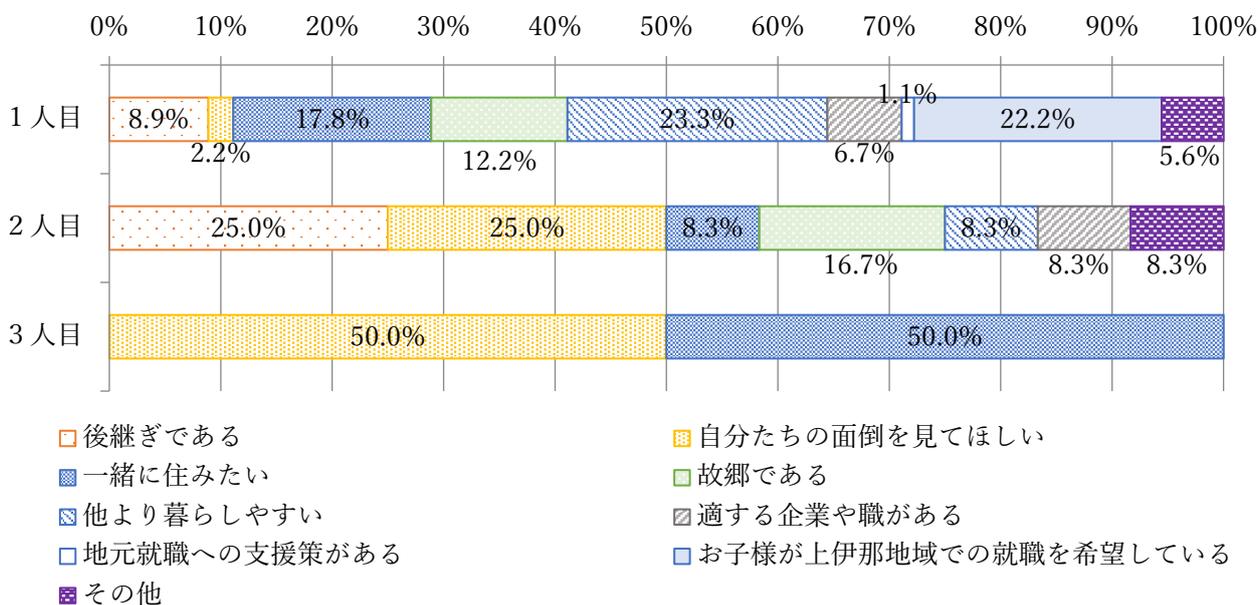


No	項目	1人目		2人目		3人目	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	強く望む	26	22.0%	1	6.3%	0	0.0%
2	やや望む	63	53.4%	11	68.8%	2	100.0%
3	あまり望まない	11	9.3%	0	0.0%	0	0.0%
4	望まない	5	4.2%	2	12.5%	0	0.0%
5	わからない	13	11.0%	2	12.5%	0	0.0%
n数		118		16		2	

問5で、「1：強く望む」、「2：やや望む」のお子様がいいらっしゃる方にお伺いします。

【問6-1】新卒時に、上伊那地域での就職を望む理由は何ですか。

☆1人目『他より暮らしやすい』(21人)、2人目『後継ぎである』『自分たちの面倒を見てほしい』(3人)、3人目『一緒に住みたい』『自分たちの面倒を見てほしい』(1人)が最も多くなっている。



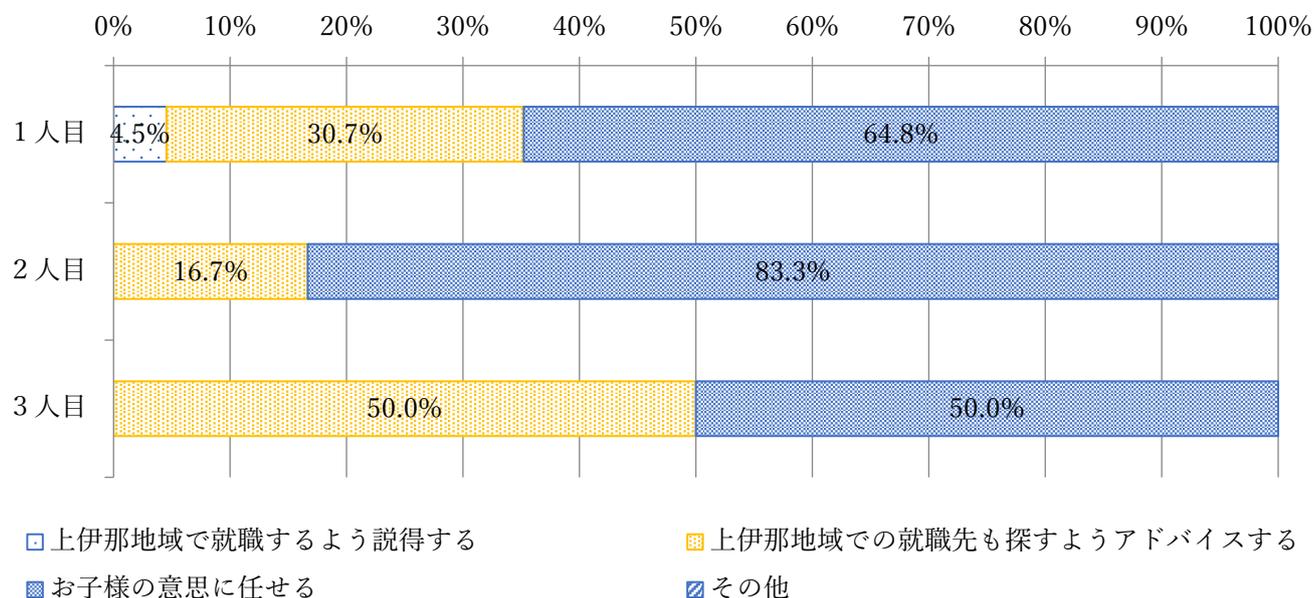
No	項目	1人目		2人目		3人目	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	後継ぎである	8	8.9%	3	25.0%	0	0.0%
2	自分たちの面倒を見てほしい	2	2.2%	3	25.0%	1	50.0%
3	一緒に住みたい	16	17.8%	1	8.3%	1	50.0%
4	故郷である	11	12.2%	2	16.7%	0	0.0%
5	他より暮らしやすい	21	23.3%	1	8.3%	0	0.0%
6	適する企業や職がある	6	6.7%	1	8.3%	0	0.0%
7	地元就職への支援策がある	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
8	お子様が上伊那地域での就職を希望している	20	22.2%	0	0.0%	0	0.0%
9	その他	5	5.6%	1	8.3%	0	0.0%
n数		90		12		2	

9 その他

分類	その他回答
希望	●親の近くに住んでほしい。
	●なるべく私たちの近くで生活して欲しい。
経済的援助	●困ったときに助けてあげられる。
	●生活費が安くすむ。
期待	●老後の面倒を見てもらいたい。
心配	●県外で一人暮らしを続けるのは心配であるため。

**【問 6-2】 お子様为上伊那地域以外での就職を希望した場合、どのような行動をとりますか。**

☆1人目、2人目、3人目とも半数以上が『お子様の意思に任せる』(57人、10人、1人)とする一方で、2人目については『上伊那地域での就職先も探すようアドバイスする』にとどまるが、1人目について、僅かではあるが『上伊那地域で就職するよう説得する』(4人) という回答もあった。

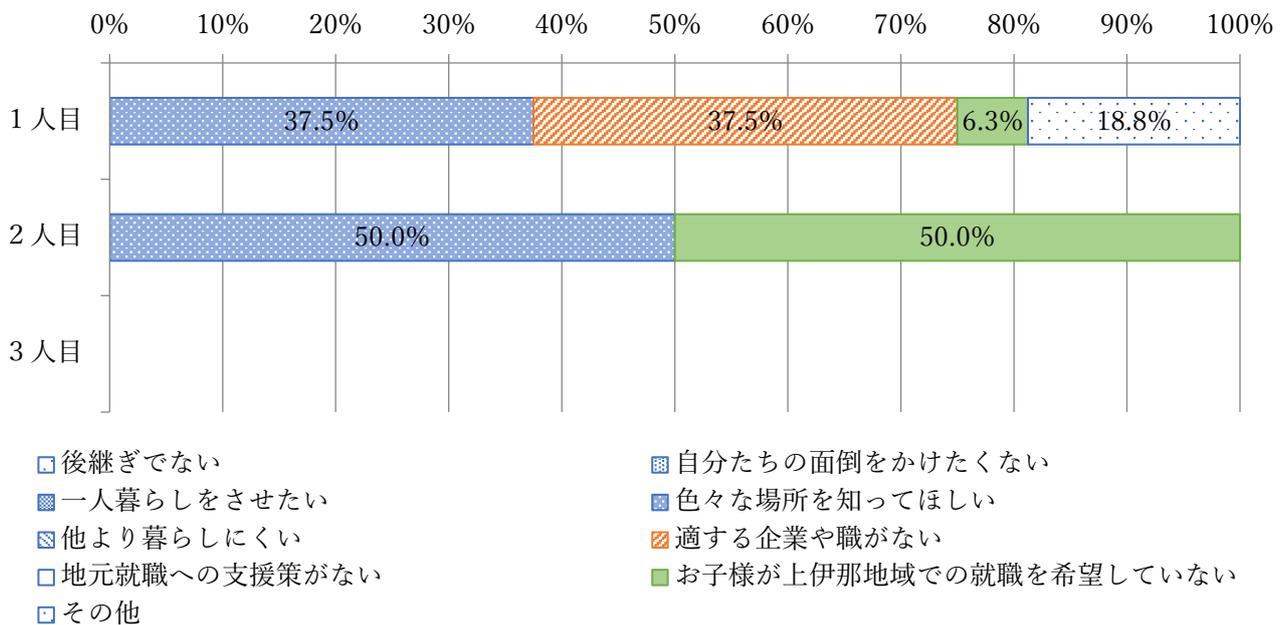


No	項目	1人目		2人目		3人目	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	上伊那地域で就職するよう説得する	4	4.5%	0	0.0%	0	0.0%
2	上伊那地域での就職先も探すようアドバイスする	27	30.7%	2	16.7%	1	50.0%
3	お子様の意思に任せる	57	64.8%	10	83.3%	1	50.0%
4	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
n数		88		12		2	

問5で、「3：あまり望まない」、「4：望まない」のお子様がいいらっしゃる方にお伺いします。

【問7-1】新卒時に、上伊那地域での就職を望まない理由は何ですか。

☆1人目『色々な場所を知ってほしい』『適する企業や職がない』（6人）、2人目『色々な場所を知ってほしい』『お子様が上伊那地域での就職を希望していない』（1人）が最も多くなっている。



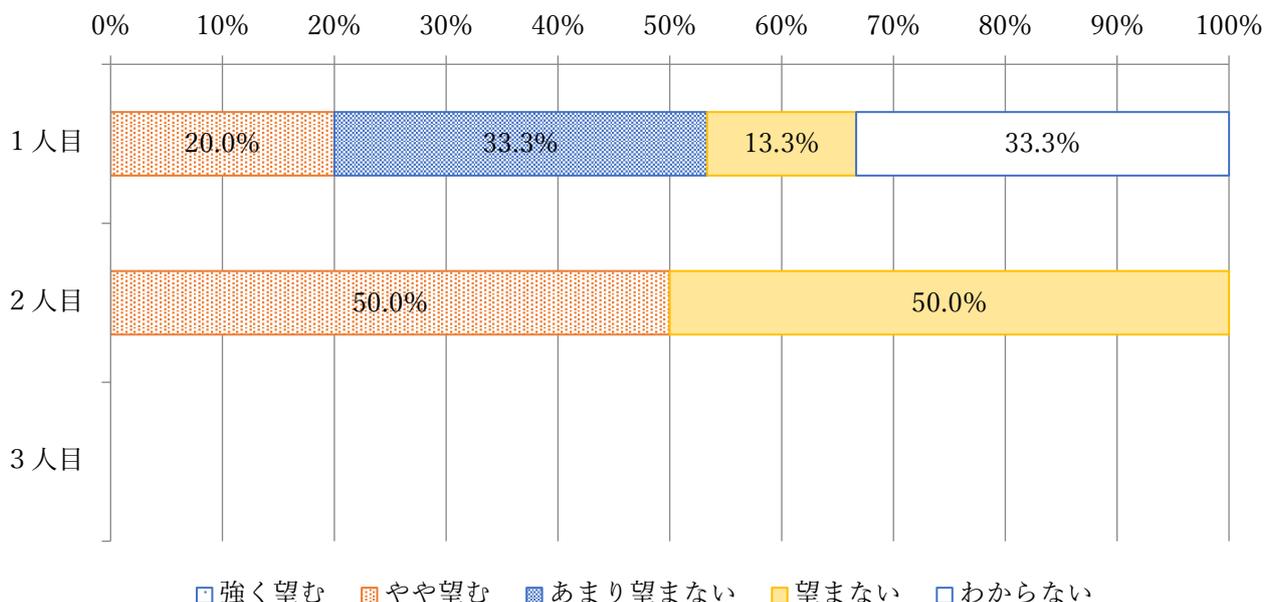
No	項目	1人目		2人目		3人目	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	後継ぎでない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2	自分たちの面倒をかけたくない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3	一人暮らしをさせたい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4	色々な場所を知ってほしい	6	37.5%	1	50.0%	0	0.0%
5	他より暮らしにくい	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6	適する企業や職がない	6	37.5%	0	0.0%	0	0.0%
7	地元就職への支援策がない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8	お子様が上伊那地域での就職を希望していない	1	6.3%	1	50.0%	0	0.0%
9	その他	3	18.8%	0	0.0%	0	0.0%
n数		16		2		0	

9 その他

分類	その他回答
信頼	●本人の意見を特に尊重したい。
	●自分の考えで誰も影響ないと思います。
内定済	●上伊那以外で内定を得ている。

【問 7-2】 いずれは上伊那地域での就職を望みますか。

☆1人目『やや望む』(3人) 20%に対し『あまり望まない』(5人) は約33%であった。2人目は『やや望む』(1人) 50%、『望まない』(1人) 50%と1人目と傾向が分かれる結果となった。

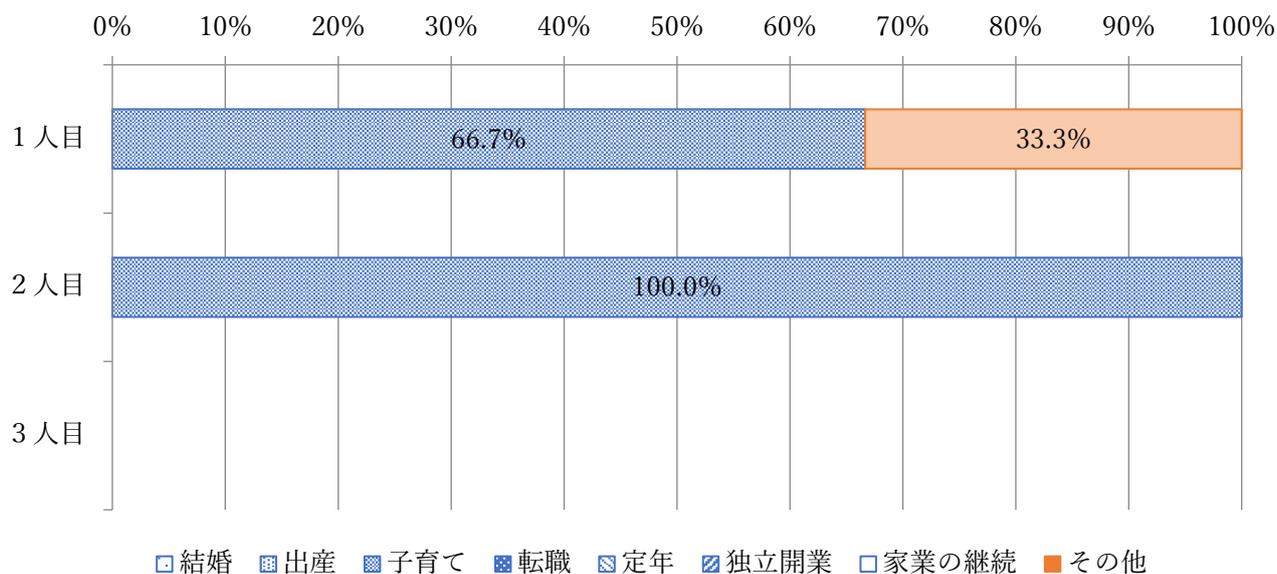


No	項目	1人目		2人目		3人目	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	強く望む	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2	やや望む	3	20.0%	1	50.0%	0	0.0%
3	あまり望まない	5	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
4	望まない	2	13.3%	1	50.0%	0	0.0%
5	わからない	5	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
n数		15		2		0	

問7-2で、「1：強く望む」、「2：やや望む」のお子様がいいらっしゃる方にお伺いします。

【問7-3】どの時期に上伊那地域で就職してほしいと思いますか。

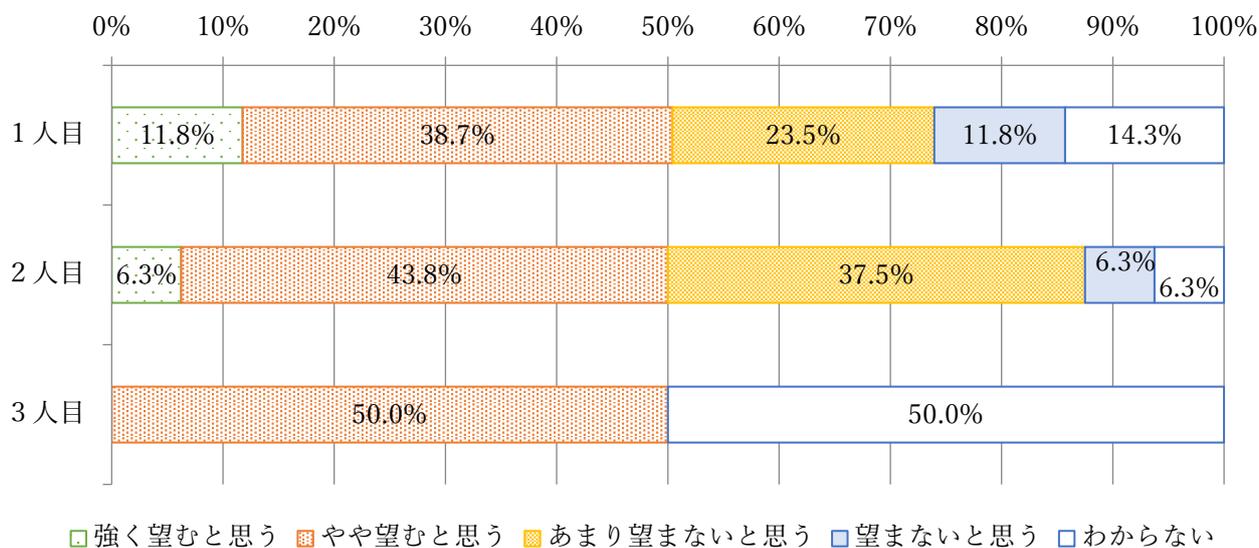
☆1人目、2人目とも『子育て』（2人、1人）が最も多くなっている。



No	項目	1人目		2人目		3人目	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	結婚	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2	出産	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
3	子育て	2	66.7%	1	100.0%	0	0.0%
4	転職	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5	定年	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
6	独立開業	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
7	家業の継続	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
8	その他	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
n数		3		1		0	

**【問 8】 お子様は、新卒時、上伊那地域での就職を望むと思いますか。**

☆1人目、2人目、3人目とも約半数が『強く望むと思う』『やや強く望むと思う』（60人、8人、1人）と回答している。一方で、『あまり望まないと思う』『望まないと思う』（42人、7人）については1人目が約35%であるのに対し2人目が約44%という結果となった。

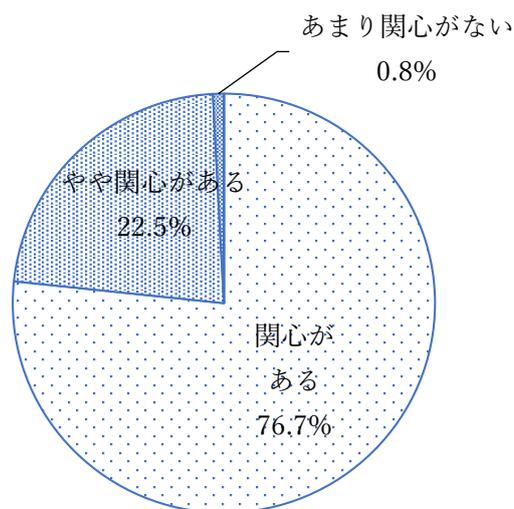


No	項目	1人目		2人目		3人目	
		回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1	強く望むと思う	14	11.8%	1	6.3%	0	0.0%
2	やや望むと思う	46	38.7%	7	43.8%	1	50.0%
3	あまり望まないと思う	28	23.5%	6	37.5%	0	0.0%
4	望まないと思う	14	11.8%	1	6.3%	0	0.0%
5	わからない	17	14.3%	1	6.3%	1	50.0%
n数		119		16		2	

**【問 9】 お子様の就職に、どの程度関心がありますか。**

☆『関心がある』(92人)『やや関心がある』(27人)と回答した人は全体の99%以上となっている

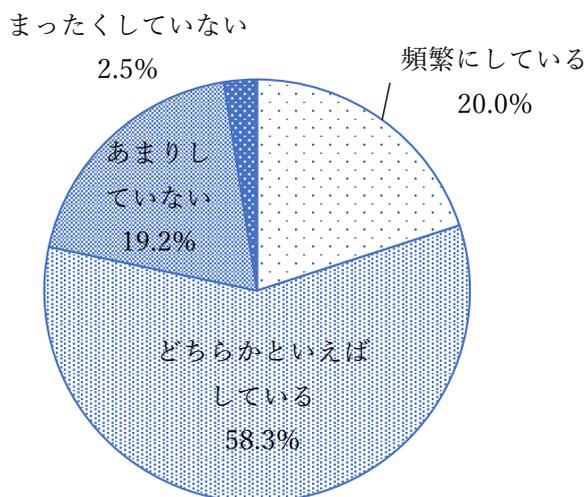
No	項目	回答数	割合
1	関心がある	92	76.7%
2	やや関心がある	27	22.5%
3	あまり関心がない	1	0.8%
4	関心がない	0	0.0%
5	どちらともいえない	0	0.0%
n数		120	



**【問 10】 お子様と、働くことや就活について普段から会話（チャット等を含む）をしていますか。**

☆『頻繁にしている』『どちらかといえばしている』(24人、70人)と回答した人は全体の約78%を占めている。一方で、『あまりしていない』『まったくしていない』(23人、3人)と回答した人も20%を超える結果となっている。

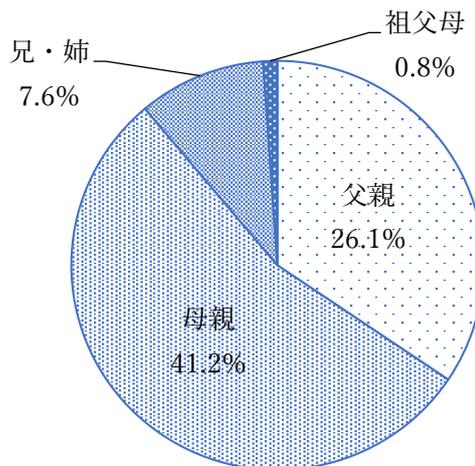
No	項目	回答数	割合
1	頻繁にしている	24	20.0%
2	どちらかといえばしている	70	58.3%
3	あまりしていない	23	19.2%
4	まったくしていない	3	2.5%
n数		120	



**【問 11】 お子様の進路に対して影響力があるのは、誰だと思いますか。**

☆『母親』(49人)が最も多く、次いで『父親』(31人)、『兄・姉』(9人)の順となっている。

No	項目	回答数	割合
1	父親	31	26.1%
2	母親	49	41.2%
3	兄・姉	9	7.6%
4	祖父母	1	0.8%
5	その他	29	24.4%
n 数		119	

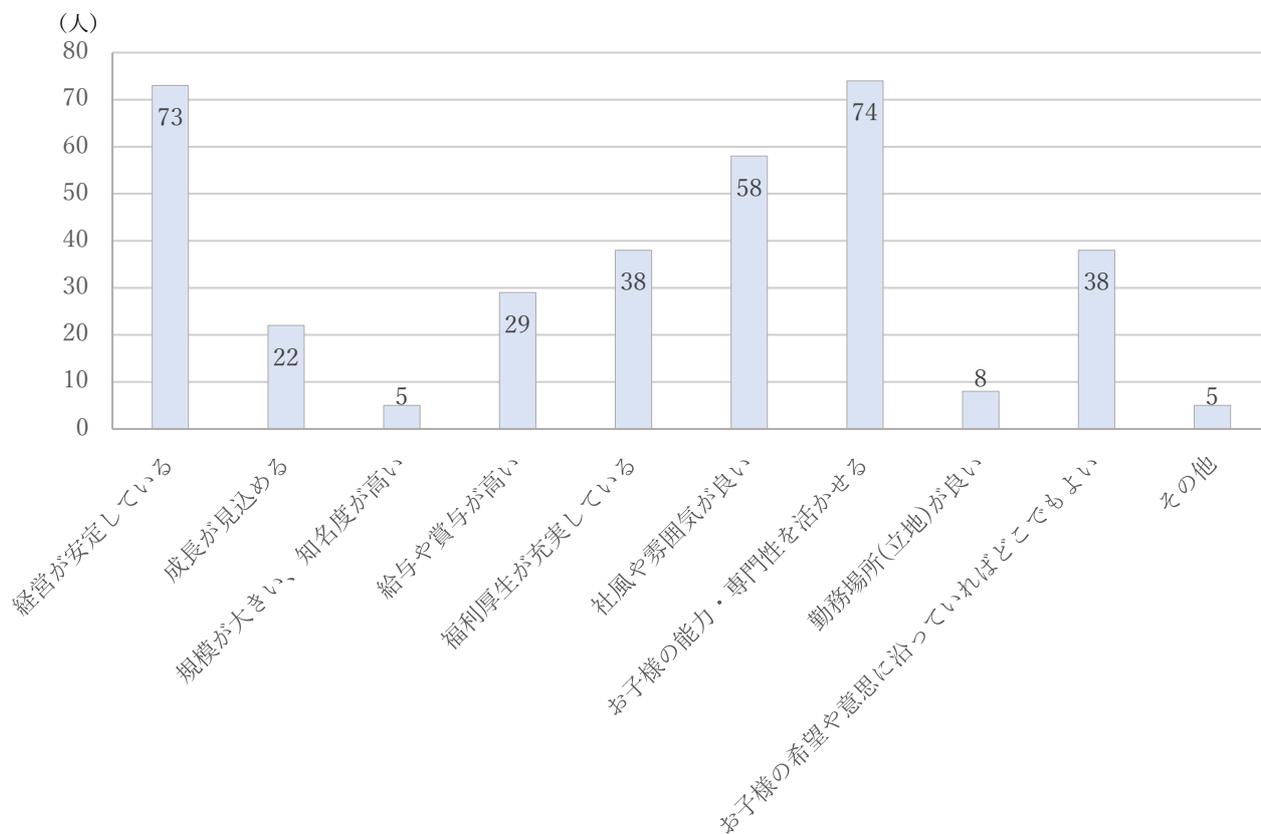


**5 その他**

分類	その他回答
年上	●卒業生情報
	●大学の先輩
	●先輩×2
家族	●両親×9
	●叔母
学校	●学校での説明×2
	●大学の進路担当
仲間	●友人×3
	●知人
本人	●自分の意思×2
	●本人次第
	●本人
なし	●特にいない
	●影響はない

【問 12】お子様の就職先に求める（期待する）ものは何ですか。あてはまるものを2つお選びください。

☆就職先に求める（期待する）ものは『お子様の能力・専門性を活かせる』（74人）が最も多く、次いで『経営が安定している』（73人）、『社風や雰囲気が良い』（58人）の順となっている。



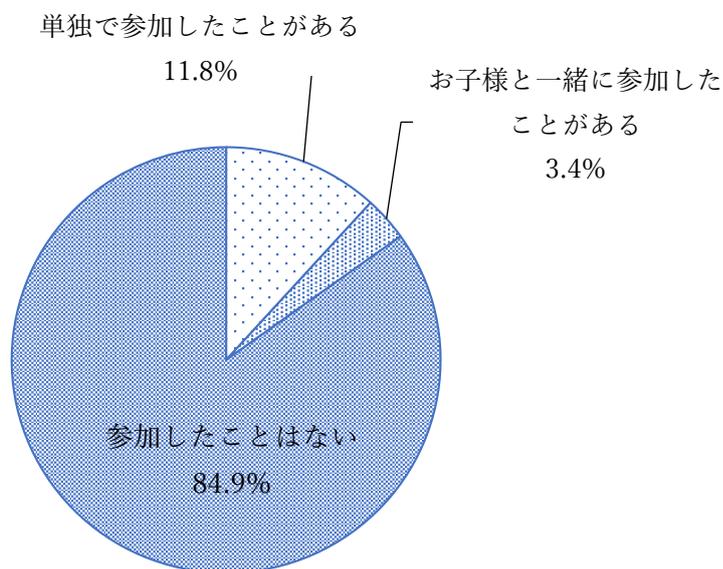
No	項目	回答数	割合
1	経営が安定している	73	20.9%
2	成長が見込める	22	6.3%
3	規模が大きい、知名度が高い	5	1.4%
4	給与や賞与が高い	29	8.3%
5	福利厚生が充実している	38	10.9%
6	社風や雰囲気が良い	58	16.6%
7	お子様の能力・専門性を活かせる	74	21.1%
8	勤務場所(立地)が良い	8	2.3%
9	お子様の希望や意思に沿っていればどこでもよい	38	10.9%
10	その他	5	1.4%
n数		350	

10 その他

分類	その他回答
その他分類	●人の役に立つ仕事
	●ワークライフバランスが保たれる働き方
	●保健師
	●養護教諭

**【問 13】 上伊那地域で開催される就活イベントに参加したことはありますか。**

☆上伊那地域で開催される就活イベントに『参加したことはない』（101人）が最も多く約85%を占めている。一方で『単独で参加したことがある』（14人）『お子様と一緒に参加したことがある』（4人）は約15%にとどまっている。

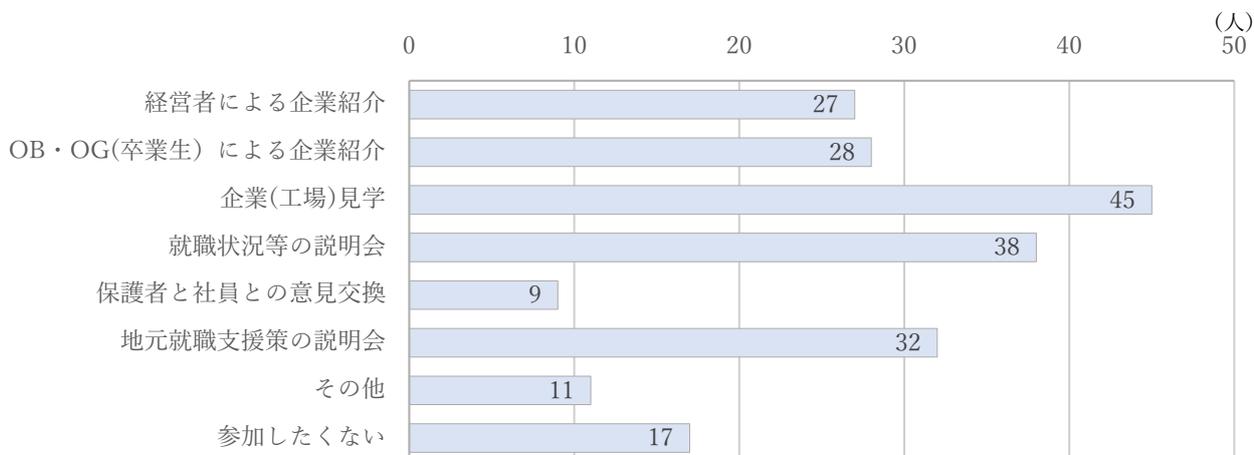


No	項目	回答数	割合
1	単独で参加したことがある	14	11.8%
2	お子様と一緒に参加したことがある	4	3.4%
3	参加したことはない	101	84.9%
n 数		119	

【問 14】上伊那地域で、保護者又は親子向けに次の就活イベントがあったら、参加したいと思いますか。

参加したいと思うものをお選びください。（複数回答可）

☆保護者又は親子向けイベントは『企業（工場）見学』（45人）が最も多く、次いで『就職状況等の説明会』（38人）、『地元就職支援策の説明会』（32人）の順となっている。



No	項目	回答数	割合
1	経営者による企業紹介	27	13.0%
2	OB・OG(卒業生)による企業紹介	28	13.5%
3	企業(工場)見学	45	21.7%
4	就職状況等の説明会	38	18.4%
5	保護者と社員との意見交換	9	4.3%
6	地元就職支援策の説明会	32	15.5%
7	その他	11	5.3%
8	参加したくない	17	8.2%
n数		207	

#### 7 その他

中分類	その他回答
子ども	●子供自身が学校の就活イベントを中心に参加している。
	●都内説明会（インターンシップに参加中です）。
企業紹介	●OB・OGの企業紹介は多種業界でお願いします。
	●回数を増やしてほしい。
インターンシップ	●インターンシップ
その他	●どれにも該当しない。
	●卒論・実習・資格取得などスケジュールがみっちり、院進学も含めて学んでおり不明。
	●時間が合えば。
	●保育系を希望しているため、上伊那で職を求める際に活かせる場があれば。
	●病院関係なので必要があるかどうか。
	●子どもに任せる。

【問 15】 これからの就職活動で必要と考える取組や支援があれば、ご自由にお書きください。

大分類	中分類	内容	
意見	人材育成	1 日体験会 (OJT)	
		インターンの回数も多いと良いのではないかな。	
		数日、3 日間までの合宿 (数ヶ所体験)	
		医療系での就職に関する説明会	
		各居住地域での相談・セミナー等	
		企業で積極的なインターンシップの取組	
		仕事とは? 自分に合う仕事の見つけ方セミナー	
		就活に必要な基礎知識 (福利厚生・手当等) セミナー	
		就職活動のためのやり方等セミナー	
		複数の職場見学会	
	文系学生のインターンシップ受け入れが少ない。		
	地元就職	業種別・学部別など細分化した新卒学生の受け入れ就職実績一覧	
		子ども達が働いてみたいと思う企業があれば、上伊那に戻ってくると思います。	
		実際そうなので仕方ありませんが、上伊那地域は、製造業がメインという認識が強いです。	
		大卒で帰省就職のメリットがない。	
		地元就職のメリットが必要	
		Uターンして地元で起業してもらおう。	
		スキルが活かせるように、(企業を越えて) 若手交流も含めて、先輩方にアイデアを出してもらおう。	
		5 年間位、新卒入社後の定着の支援 目的もなく退職してしまう事のないようにしていきたい。	
	賃金	安い給与では県外に若手の働き手が流れてしまう。	
		良い人材や若者を流出しないようにするために、 医療系でやっているような奨学金制度・資金など企業が出し合う。	
	企業活性化	産業界の活性化を考える企業が増えること。	
		1、産業間のコラボ交流 2、新分野の開拓 3、1 と 2 の試みに取組める余裕を生み出せる何か	
	感想	地元就職	令和 2 年度、3 年度に卒業で、本人希望により上伊那地域での就職が内定しています。
			これからは、いろいろな人から聞く事は大事だと思います。
			子ども達は、やはり説明会やイベントに出てくる企業の名前で、まず判断しています。
			小学校や中学校でも近年仕事フェスなどで知る機会が増えました。
			多くの友人から、地元には希望する就職先がないと聞きます。
			地元の企業を知らないことは確かです。
			地元の良さは、親はわかりません。

大分類	中分類	内容
感想	インターン	インターンの予約を自分でなかなかしないので、インターンや工業見学の日時が決まっていますと参加できると良いと思います。
		何に魅力を感じるのか考えてもらいたいです。
	学校	訓練校のため、学校を中心に就職活動を行ってくれる。
	バス	無料バスはとてありがたい支援です。
長男が新宿からの無料バスで参加し大変勉強になったとの事だった。		
要望・支援策	地元就職	地元の企業の良さや、若者を積極的に採用し育ててくれる企業を教えて欲しい。
		いろいろな企業や仕事があることを、もっとアピールしてもらえると子ども達も地元に興味を持てると思います。
	資金	医療系を希望していますが、上伊那地域で独自の奨学金などがあたらいいと思います。
		上伊那地域にも就職により奨学金補助などの支援があるようですが、知名度の高い大きな企業や若者が興味を持つような企業が増えればよいと思います。
	人材育成	野外学習で紹介したり、一緒に何かを作ったり、時間をかけていくのも必要かと思えます。
		取り組んで頂いている U ターン向け合同企業説明会は大変ありがたいので引き続き継続して頂きたい。
	企業活動	ネットによる企業説明がもっと多くなって欲しい。
		既にやっているかもしれないですが、中高生から上伊那がどうなって欲しいか考えてもらう。
	学校	大学院へ進学した後の就職活動についての取組や支援も大卒と同じ頻度で行って欲しい。
	バス	関西方面（京都・神戸）からの就活バス。
交通費の支給又はシャトルバスの運行。		
その他	意見	回数が増えたり、企業によってはありますが補助があると嬉しいです。
	疑問	企業説明会などは本人達が出向くべきで、親がどうこう言う必要があるのかと思ってしまう。
		古い人間だと思われてしまうかもしれませんが、子供の就職に親が口を出すのは、ちょっとためらってしまいます。
その他	本人が公務員や教員を希望しており、そういった方面の選択肢が無かったので、少々回答しづらかったです。	

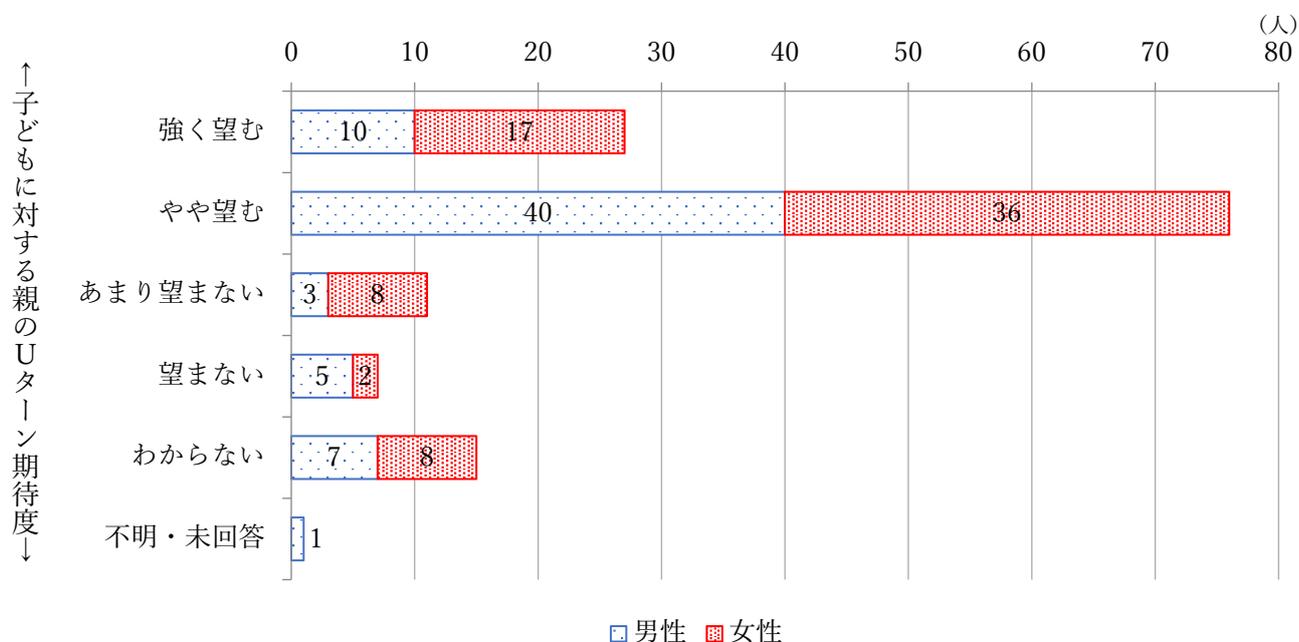
## 保護者の意識調査アンケートクロス集計及び分析

### 1) 子ども（子ども別）に対する、親のUターン期待度

<性別>

☆子どもに対する親のUターン期待度は、男女とも『やや望む』（40人、36人）が最も多く、次いで『強く望む』（10人、17人）が多くなっている。

☆男女比率では『強く望む』は女性が63.0%と高く、『やや望む』は男性が52.6%と高くなっている。



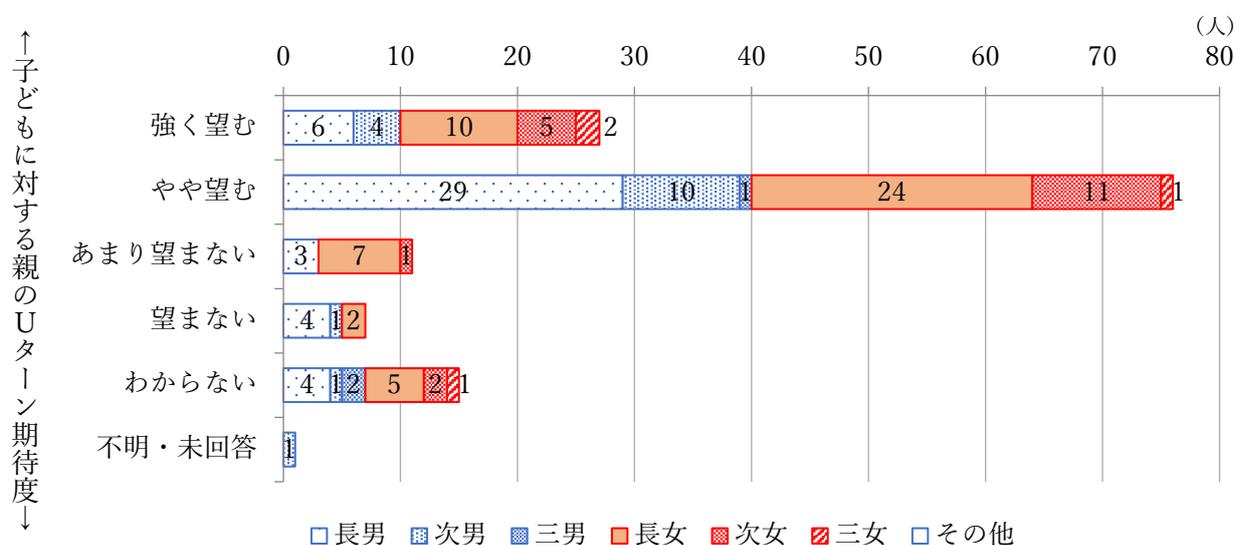
項目	男性 (人数)	女性 (人数)
強く望む	10	17
やや望む	40	36
あまり望まない	3	8
望まない	5	2
わからない	7	8

項目	男性 (割合)	女性 (割合)
強く望む	37.0%	63.0%
やや望む	52.6%	47.4%
あまり望まない	27.3%	72.7%
望まない	71.4%	28.6%
わからない	46.7%	53.3%

<続柄別>

☆子どもに対する親のUターン期待度は、長男、次男、長女、次女の各項目について『やや望む』(29人、10人、24人、11人)が最も多くなっている。

☆『やや望む』と回答した人の割合は、長男(38.2%)が最も高く、次いで長女(31.6%)となっている。



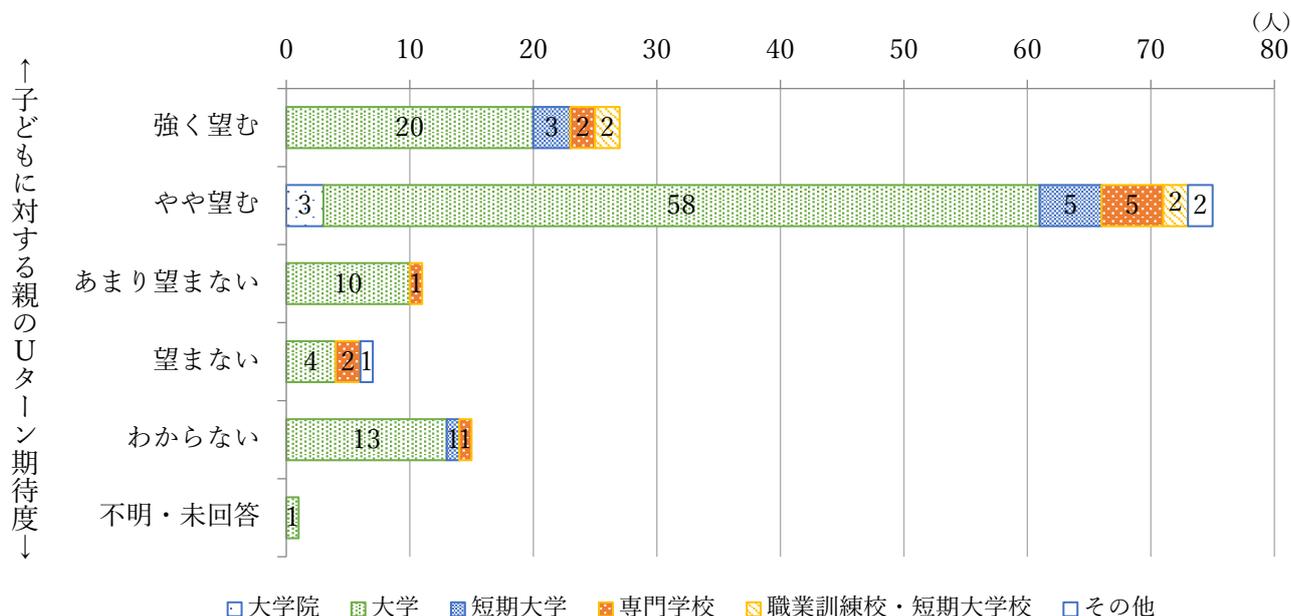
項目	長男	次男	三男	長女	次女	三女	その他
強く望む	6	4	0	10	5	2	0
やや望む	29	10	1	24	11	1	0
あまり望まない	3	0	0	7	1	0	0
望まない	4	1	0	2	0	0	0
わからない	4	1	2	5	2	1	0

項目	長男	次男	三男	長女	次女	三女	その他
強く望む	22.2%	14.8%	0.0%	37.0%	18.5%	7.4%	0.0%
やや望む	38.2%	13.2%	1.3%	31.6%	14.5%	1.3%	0.0%
あまり望まない	27.3%	0.0%	0.0%	63.6%	9.1%	0.0%	0.0%
望まない	57.1%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
わからない	26.7%	6.7%	13.3%	33.3%	13.3%	6.7%	0.0%

<在 schools 別>

☆子どもに対する親のUターン期待度は、全項目について『やや望む』が最も多くなっている。

☆『やや望む』と回答した人の割合は、大学（76.3%）が最も高く、次いで短期大学、専門学校（6.6%）となっている。



項目	大学院	大学	短期大学	専門学校	職業訓練校 短期大学校	その他
強く望む	0	20	3	2	2	0
やや望む	3	58	5	5	2	2
あまり望まない	0	10	0	1	0	0
望まない	0	4	0	2	0	1
わからない	0	13	1	1	0	0

項目	大学院	大学	短期大学	専門学校	職業訓練校 短期大学校	その他
強く望む	0.0%	74.1%	11.1%	7.4%	7.4%	0.0%
やや望む	3.9%	76.3%	6.6%	6.6%	2.6%	2.6%
あまり望まない	0.0%	90.9%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%
望まない	0.0%	57.1%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%
わからない	0.0%	86.7%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%

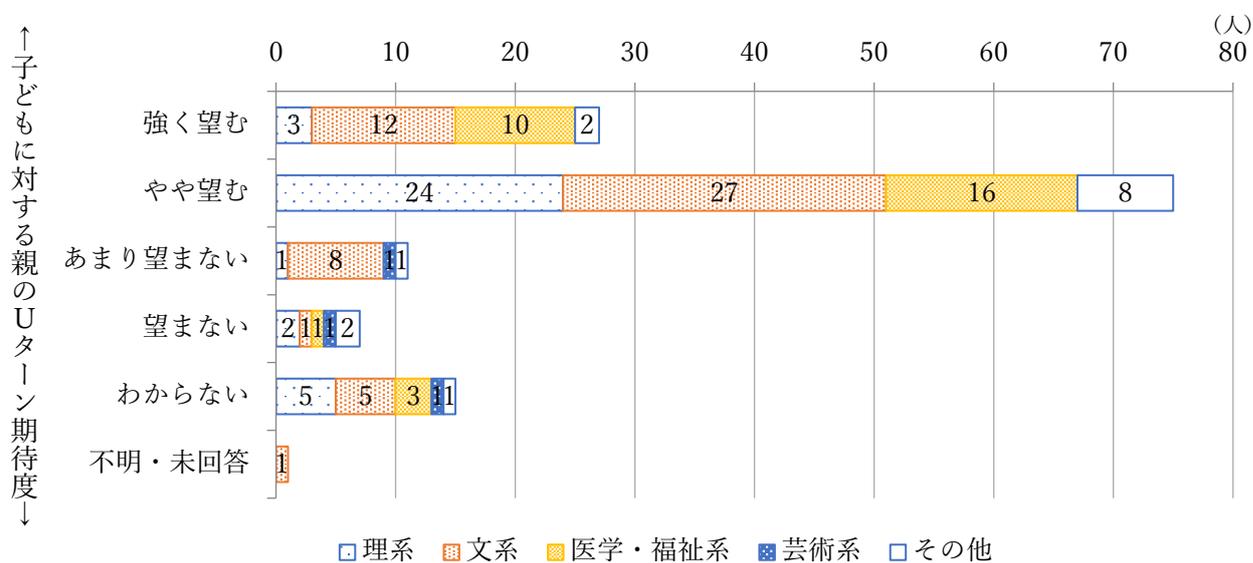
<学部系統別>

☆子どもに対する親のUターン期待度は、文系、医学・福祉系、その他について『やや望む』(27人、16人、8人)が最も多く、次いで『強く望む』(12人、10人、2人)となっている。

☆理系(24人)は『やや望む』の回答は最も多いが、『わからない』の回答も5人となっている。

☆芸術系は『あまり望まない』『望まない』『わからない』の回答がそれぞれ1人となっている。

☆学部系統別に親のUターンの期待度が変化している可能性がある。

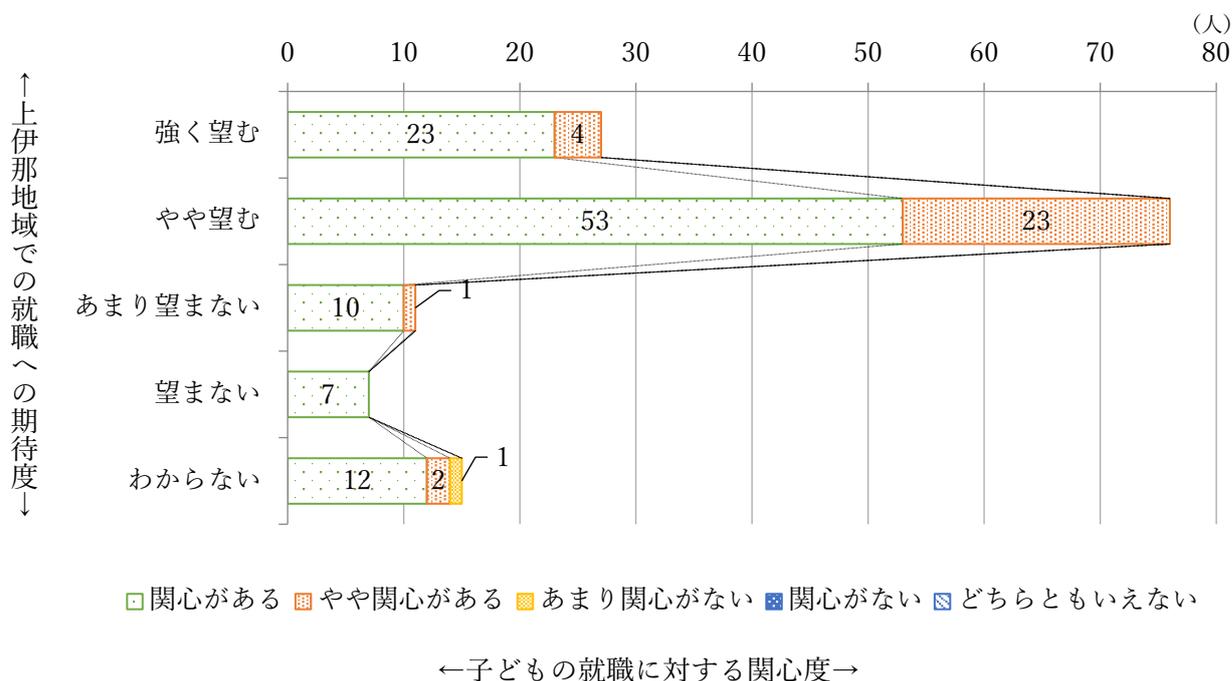


項目	理系	文系	医学・福祉系	芸術系	その他
強く望む	3	12	10	0	2
やや望む	24	27	16	0	8
あまり望まない	1	8	0	1	1
望まない	2	1	1	1	2
わからない	5	5	3	1	1

項目	理系	文系	医学・福祉系	芸術系	その他
強く望む	11.1%	44.4%	37.0%	0.0%	7.4%
やや望む	31.6%	35.5%	21.1%	0.0%	10.5%
あまり望まない	9.1%	72.7%	0.0%	9.1%	9.1%
望まない	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%
わからない	33.3%	33.3%	20.0%	6.7%	6.7%

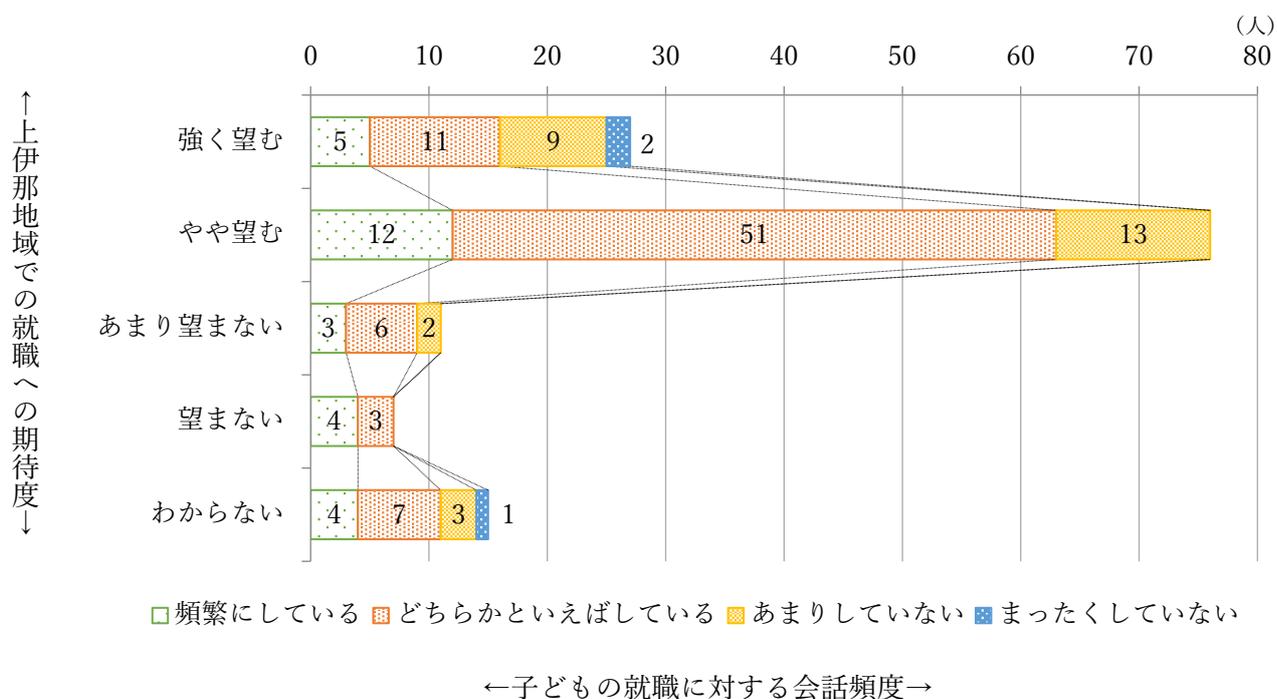
## 2) 子どもへの関わり度合いとUターンへの期待度①

☆子どもの就職に対する関心度は、『関心がある』、『やや関心がある』の各項目について『やや望む』(53人、23人)が最も多く、次いで『強く望む』(23人、4人)という結果になった。



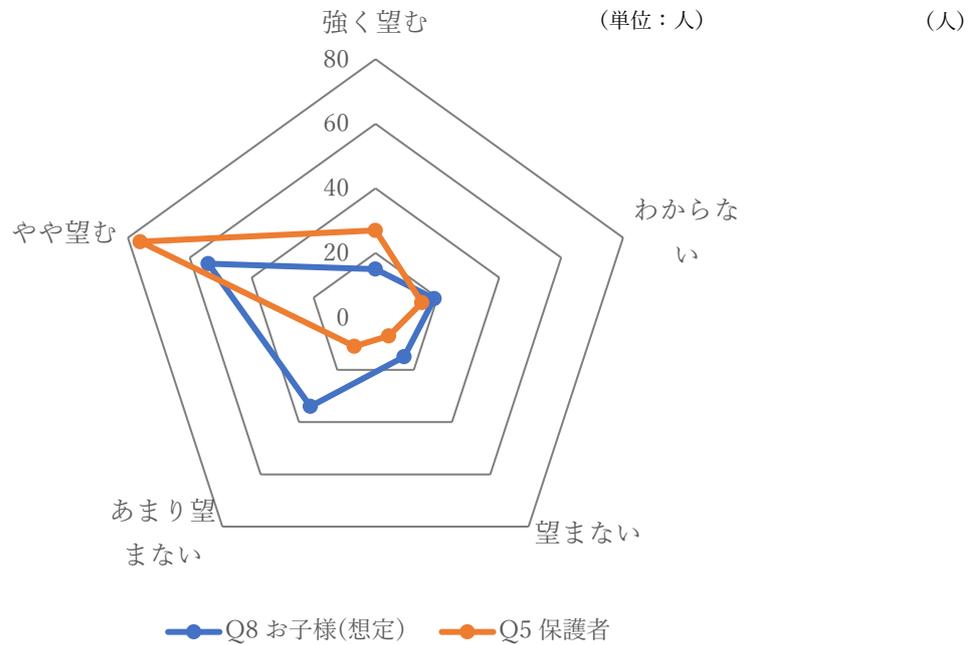
## 3) 子どもへの関わり度合いとUターンへの期待度②

☆子どもの就職に対する会話頻度は、『頻繁にしている』『どちらかといえばしている』『あまりしていない』の各項目について『やや望む』(12人、51人、13人)が最も多く、次いで『強く望む』(5人、11人、9人)という結果になった。



#### 4) Uターンに対する親の希望と、推測する子どもの考え

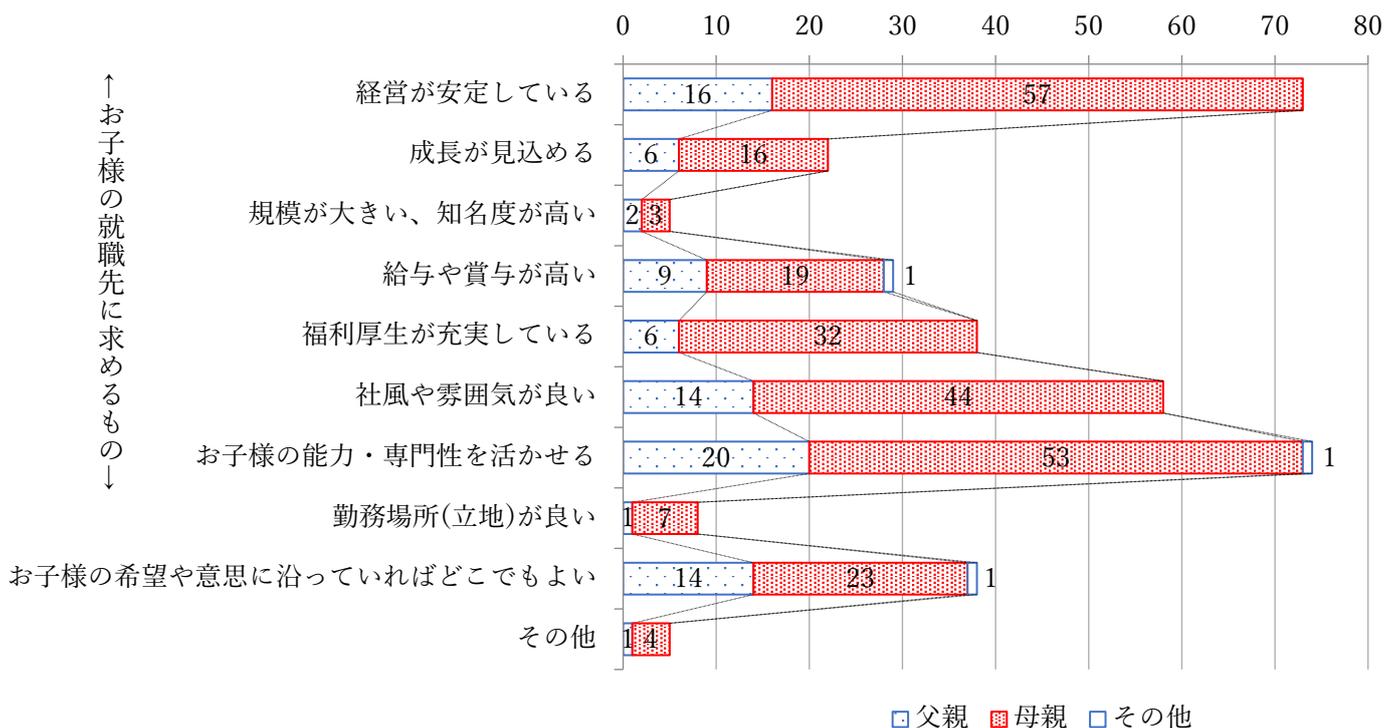
☆上伊那地域の就職を希望するかという問いに対する、親の希望と子どもの気持ち（推測）は概ね同じ傾向にあるものの、保護者と比べ子どもが上伊那地域での就職をあまり望んでいない（推測）ことがわかる。



#### 5) 親の企業を見る目

☆父親は『お子様の能力・専門性を活かせる』(20人)を最も就職先に求めて(期待して)おり、次いで『経営が安定している』(16人)ことを求めて(期待して)いる。

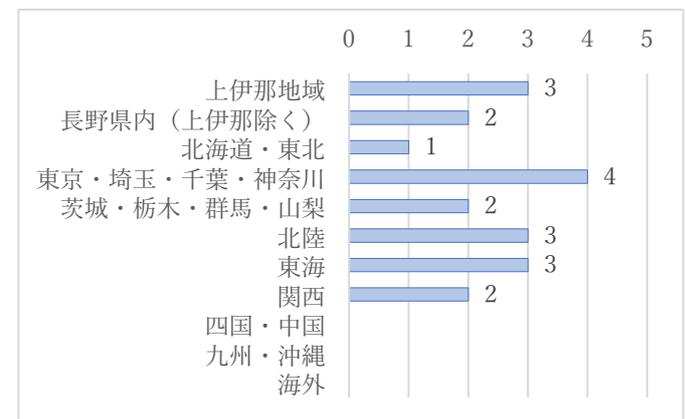
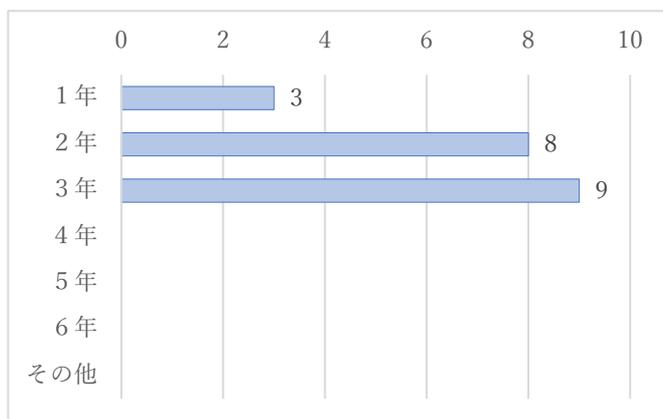
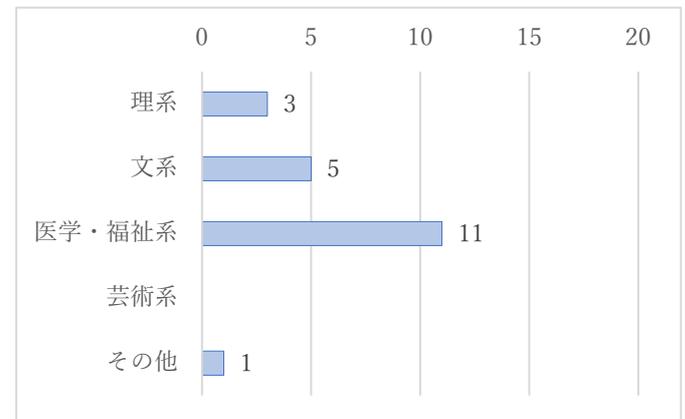
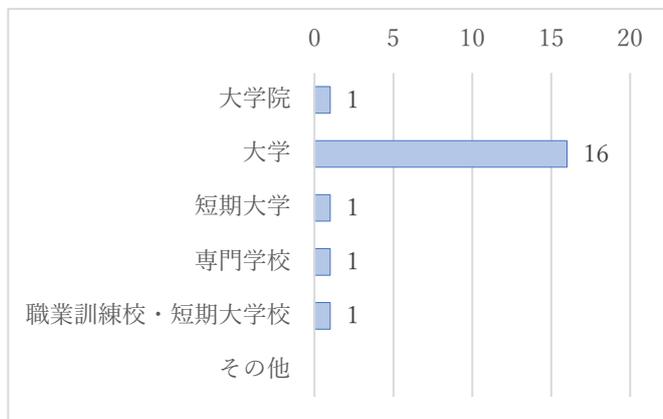
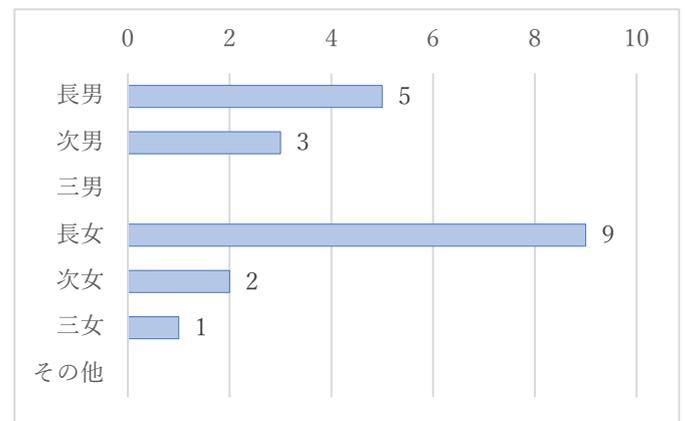
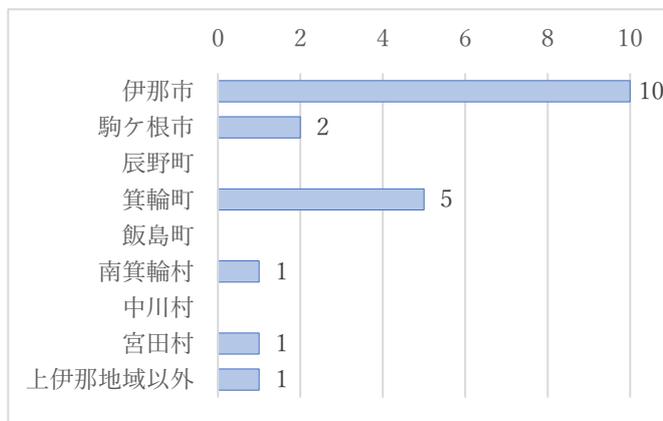
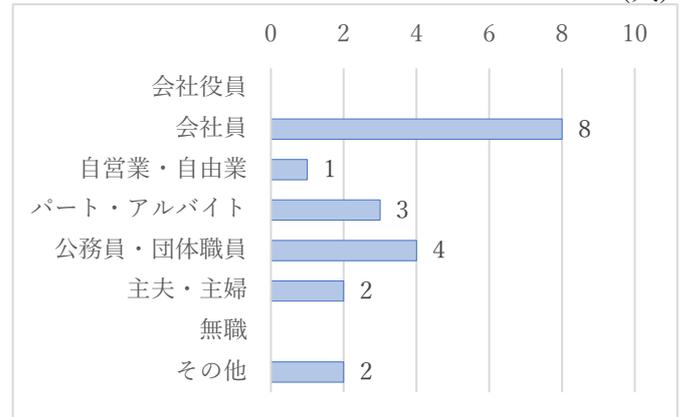
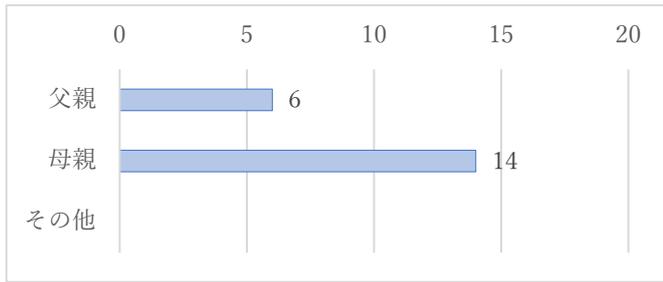
☆母親は『経営が安定している』(57人)ことを最も就職先に求めて(期待して)おり、次いで『お子様の能力・専門性を活かせる』ことを求めて(期待して)いる。



## 6) 子どもが上伊那で就職を希望している場合の傾向

☆上伊那地域での就職を希望している子どもの傾向は、回答者母親（14人）、伊那市在住（10人）、長男（5人）長女（9人）、大学（16人）2年（8人）～3年（9人）、医学・福祉系（11人）が多くみられる。

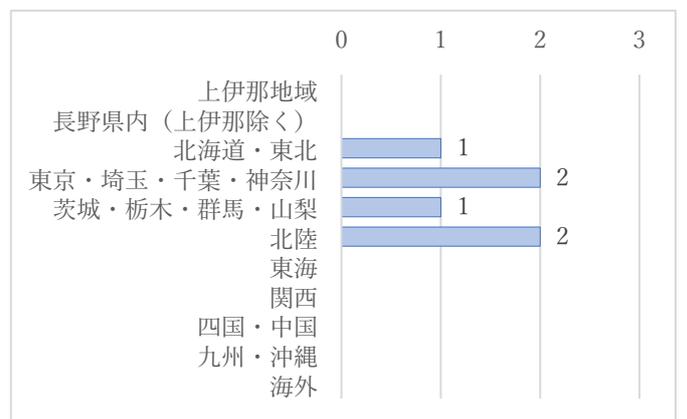
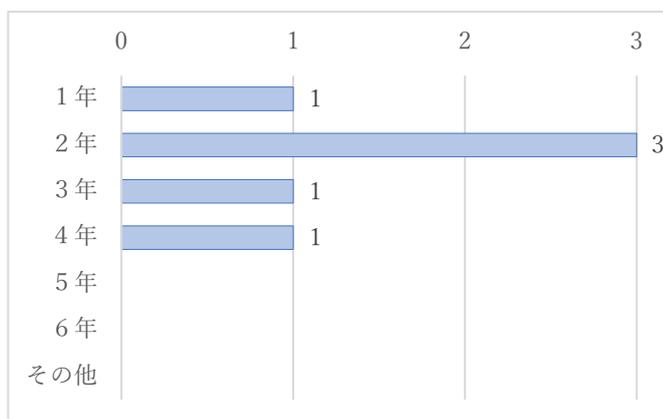
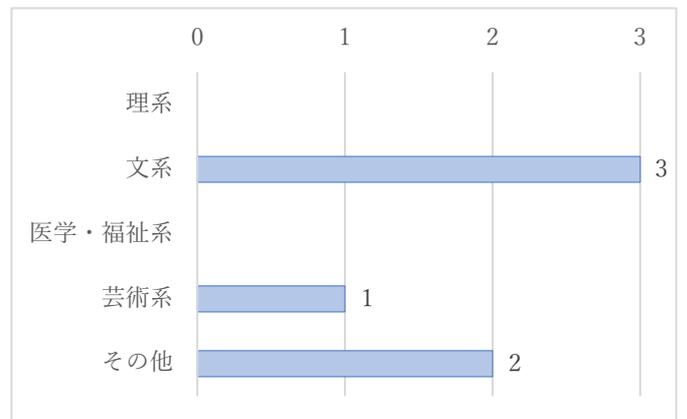
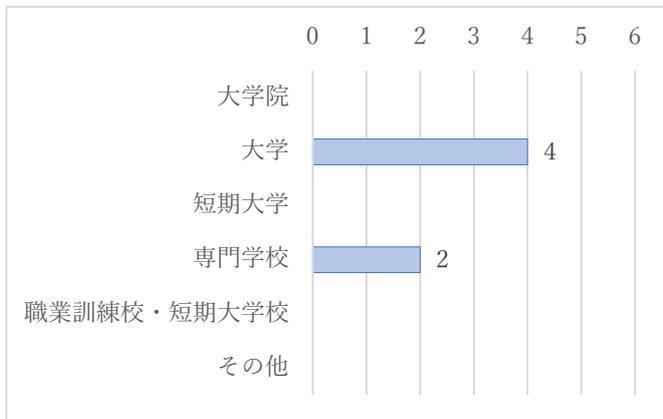
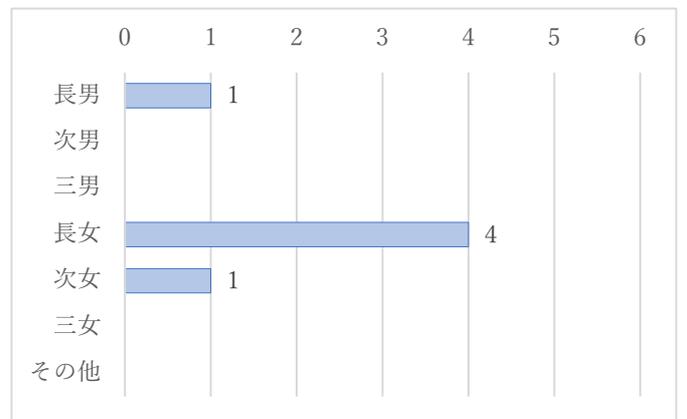
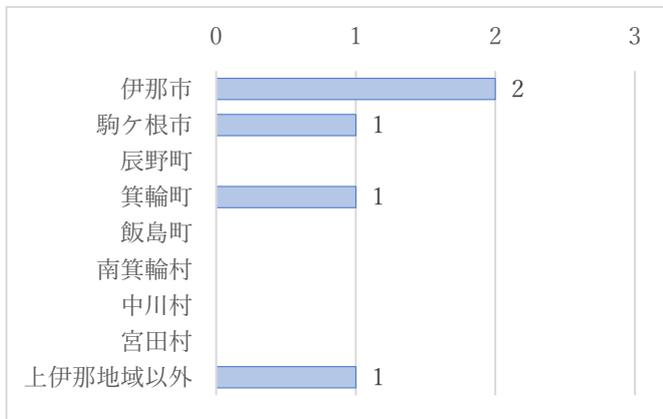
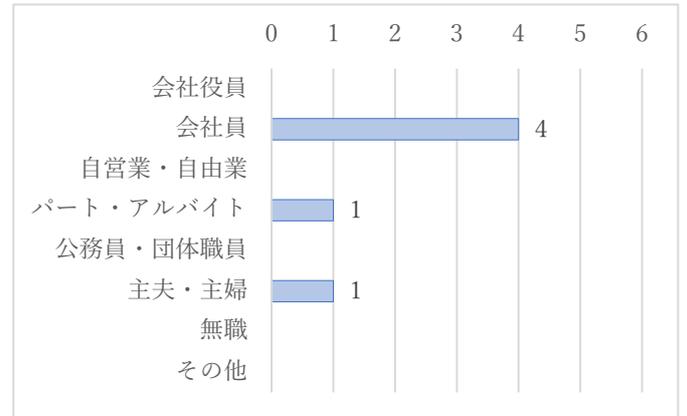
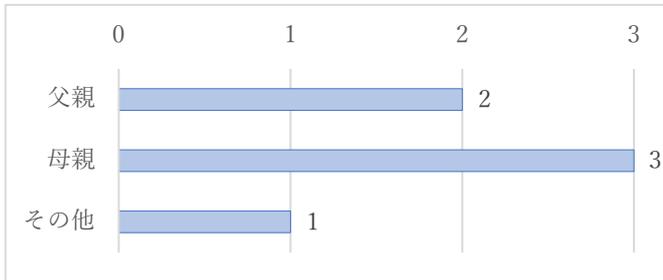
n数=20 (人)



## 7) 子どもの適職がないと判断している場合の傾向

☆子どもの適職がないと判断している場合の傾向は、回答者が会社員（4人）、長女（4人）、大学（4人）が比較的多くみられる。

n数=6  
(人)



## 8) 全国のUターン傾向と、今回のアンケートで見た上伊那の特徴（専門家意見）

長野県外進学の大卒等のUターン就職率は、2011.3卒をピークに減少し、全国の大卒内定率が高いとUターンが減る傾向があることが県の調査からわかっている。

### 【子どものUターン意識】

全国のUターン希望率は20年卒の学生が33.4%であるのに対して、長野県の学生は45.3%ととても高い。

- ・自分の意思で、両親や父母の近くで生活したいから（長野県 60.5%／全国 49.2%）
- ・地元が好き（長野県 55.3%／全国 39.2%）
- ・経済的に楽（長野県 43.4%／全国 43.4%）
- ・親の意思（長野県 22.4%／全国 10.3%）
- ・長男長女（長野県 18.4%／全国 14.3%）

（20年卒マイナビ大学生Uターン・地元就職に関する調査より）

【リリース】20年卒マイナビ大学生Uターン・地元就職に関する調査.pdf 13 / 58

\*地元就職希望(最も就職したい都道府県が卒業高校都道府県に一致)の割合

【地元進学】現在の学校所在都道府県が卒業高校都道府県に一致  
 【地元外進学】現在の学校所在都道府県が卒業高校都道府県に不一致

◎卒業高校都道府県別	全体		地元進学		地元外進学		地元進学と地元外進学の差 (pt)
	回答数	地元就職希望	回答数	地元就職希望	回答数	地元就職希望	
全体	7,734	49.8%	3,563	69.4%	4,171	33.4%	+36.0pt
北海道	228	65.4%	168	78.8%	60	25.0%	+54.8pt
東北	58	34.5%	23	56.5%	35	20.0%	+36.5pt
関東	79	29.1%	19	47.4%	60	23.3%	+24.1pt
甲信越	150	49.3%	82	67.1%	68	27.9%	+39.2pt
東海	54	27.9%	16	43.9%	38	21.1%	+22.7pt
北陸	68	39.7%	20	60.0%	48	31.3%	+28.7pt
関西	79	26.6%	14	42.9%	65	23.1%	+19.8pt
中国	162	34.6%	53	58.5%	109	22.9%	+35.6pt
四国	95	32.6%	23	60.9%	72	23.6%	+37.3pt
九州	122	41.0%	44	63.6%	78	28.2%	+35.4pt
東京都	358	20.4%	75	33.3%	283	17.0%	+16.3pt
千葉県	307	22.5%	90	36.7%	217	16.6%	+20.1pt
東京都	761	89.1%	576	81.7%	185	81.1%	+10.6pt
神奈川県	500	40.4%	173	55.3%	327	32.4%	+23.1pt
新潟県	148	50.7%	73	71.2%	75	30.7%	+40.5pt
山梨県	52	42.3%	26	50.0%	26	34.6%	+15.4pt
長野県	123	56.1%	37	81.1%	86	45.3%	+35.8pt
岐阜県	146	26.7%	25	48.0%	121	22.3%	+25.7pt
静岡県	211	43.6%	73	76.7%	138	26.1%	+50.6pt
愛知県	644	74.5%	484	82.0%	160	51.9%	+30.1pt
三重県	123	21.1%	17	35.3%	106	18.8%	+16.4pt
富山県	85	44.7%	17	70.6%	68	38.2%	+32.4pt
石川県	101	60.4%	51	72.5%	50	48.0%	+24.5pt
福井県	61	59.0%	28	85.7%	33	36.4%	+49.3pt
滋賀県	89	32.3%	17	41.2%	72	30.5%	+10.7pt
京都府	242	41.3%	123	49.6%	119	32.8%	+16.8pt
大阪府	552	78.1%	265	83.8%	287	72.8%	+11.0pt
兵庫県	435	38.9%	219	50.2%	216	27.3%	+22.9pt
奈良県	105	12.4%	19	26.3%	86	9.3%	+17.0pt
和歌山県	57	28.1%	8	37.5%	49	26.5%	+11.0pt
鳥取県	22	40.9%	3	66.7%	19	36.8%	+29.9pt
徳島県	11	29.1%	5	100.0%	6	15.4%	+84.6pt

【リリース】20年卒マイナビ大学生Uターン・地元就職に関する調査.pdf 36 / 58

データ集(地元・地元外進学男女別)

▼地元(Uターン含む)就職を希望する理由(MA)

一横軸で複数回答の比率を表示

◎卒業高校都道府県別	回答数	一横軸で複数回答の比率を表示						
		自分の意思から両親や祖父母の近くで生活したいから	(親の意思で)地元で生活するよう言われているから	長男・長女だから	友人が多いから	彼(彼女)がいるから	実家から通って経済的に楽だから	地元(Uターン)での生活に慣れているから
全体	4,632	49.2%	10.3%	14.3%	21.3%	8.9%	43.4%	40.1%
北海道	134	50.7%	8.2%	14.2%	21.6%	14.2%	20.9%	44.8%
東北	23	65.2%	13.0%	21.7%	17.4%	13.0%	60.9%	52.2%
関東	38	55.3%	21.1%	21.1%	15.8%	5.3%	31.6%	39.5%
甲信越	89	46.1%	10.1%	13.5%	23.6%	10.1%	32.6%	42.7%
東海	27	75.0%	17.9%	35.7%	21.4%	3.6%	28.6%	21.4%
北陸	38	43.2%	16.2%	18.9%	13.5%	2.7%	35.1%	29.7%
関西	34	55.9%	14.7%	35.3%	8.8%	5.9%	23.5%	58.8%
中国	88	59.1%	12.5%	15.9%	15.9%	9.1%	38.6%	36.4%
四国	44	45.5%	18.2%	11.4%	15.9%	2.3%	47.7%	47.7%
九州	59	59.3%	11.9%	13.8%	18.6%	8.5%	49.2%	40.7%
東京都	196	45.3%	10.3%	5.8%	16.7%	9.0%	54.5%	35.3%
千葉県	142	47.9%	2.8%	13.4%	21.8%	11.3%	49.3%	32.4%
東京都	477	48.2%	6.4%	7.4%	28.7%	11.7%	53.1%	41.8%
神奈川県	311	45.0%	5.1%	6.7%	21.9%	8.0%	54.7%	42.8%
甲信越	88	56.8%	10.2%	20.5%	19.3%	9.1%	44.3%	45.5%
山梨県	26	69.2%	19.2%	11.5%	19.2%	7.7%	53.8%	53.8%
長野県	76	60.5%	22.4%	18.4%	18.4%	1.3%	43.4%	34.2%
東海	83	51.8%	13.3%	19.3%	13.3%	15.7%	42.2%	39.8%
静岡県	124	52.4%	12.9%	18.5%	15.3%	6.5%	45.2%	47.6%
愛知県	489	47.8%	10.7%	11.3%	24.9%	13.8%	55.7%	42.5%
三重県	61	55.7%	16.4%	9.8%	19.7%	9.8%	49.2%	34.4%
富山県	50	70.0%	10.0%	18.0%	22.0%	4.0%	42.0%	26.0%
石川県	67	62.7%	10.4%	16.4%	14.9%	6.0%	40.3%	38.8%
福井県	39	56.4%	12.8%	23.1%	23.1%	2.6%	61.5%	53.8%
滋賀県	57	47.4%	12.3%	8.8%	14.0%	10.5%	56.1%	49.1%
京都府	153	52.9%	12.4%	7.8%	28.8%	8.5%	54.2%	40.5%
大阪府	419	52.3%	11.5%	10.5%	27.9%	12.9%	53.5%	41.3%
兵庫県	281	56.2%	10.7%	10.3%	20.6%	8.2%	44.1%	39.1%

◎卒業高校都道府県別		回答数	地元の風土が好きなから	地元(Uターン先)に貢献したいから	志望企業があるから	志望する職種があるから	転勤がなさそうだから	仕事とプライベートを両立させたいから	都会で生活する自信が無いから	
全体	全体	4,634	39.2%	23.8%	21.4%	12.3%	11.7%	29.5%	17.3%	
北海道	北海道	134	56.7%	38.1%	20.9%	12.7%	9.7%	24.6%	23.9%	
東北	青森県	23	52.2%	47.8%	17.4%	8.7%	13.0%	17.4%	52.2%	
	岩手県	38	55.3%	44.7%	7.9%	10.5%	10.5%	26.3%	36.8%	
	宮城県	89	48.3%	32.6%	19.1%	6.7%	7.9%	31.5%	21.3%	
	秋田県	28	50.0%	35.7%	10.7%	10.7%	0.0%	28.6%	25.0%	
関東	山形県	37	51.1%	40.5%	10.8%	5.4%	2.7%	16.2%	27.0%	
	福島県	34	52.9%	55.9%	14.7%	8.8%	5.9%	26.5%	38.2%	
	茨城県	88	36.4%	27.3%	14.8%	9.1%	12.5%	27.3%	27.3%	
	栃木県	44	40.9%	27.3%	31.8%	25.0%	15.9%	38.6%	22.7%	
	群馬県	59	47.5%	33.9%	18.6%	8.5%	8.5%	39.0%	42.4%	
	埼玉県	156	23.1%	9.0%	14.7%	8.3%	16.0%	31.4%	9.6%	
	千葉県	142	30.3%	15.5%	14.1%	14.8%	17.6%	35.2%	20.4%	
	東京都	471	22.3%	4.7%	29.3%	17.6%	14.0%	33.5%	3.0%	
	甲信越	神奈川県	311	27.3%	11.9%	21.9%	12.9%	17.4%	36.0%	8.7%
		新潟県	88	46.6%	44.3%	23.9%	11.4%	6.8%	21.6%	33.0%
山梨県		29	42.3%	46.2%	15.4%	11.5%	7.7%	38.5%	26.9%	
東海	長野県	76	55.3%	35.5%	26.3%	14.5%	14.5%	18.4%	26.3%	
	岐阜県	83	34.9%	27.7%	24.1%	21.7%	14.5%	27.7%	20.5%	
	静岡県	124	54.8%	30.6%	18.5%	9.7%	9.7%	29.0%	32.3%	
	愛知県	485	31.3%	20.2%	23.7%	12.6%	12.8%	31.1%	13.8%	
	三重県	61	45.9%	23.0%	11.5%	8.2%	18.0%	32.8%	16.4%	
北陸	富山県	50	60.0%	26.0%	32.0%	18.0%	12.0%	20.0%	28.0%	
	石川県	67	41.8%	29.9%	26.4%	10.4%	11.9%	35.8%	28.4%	
	福井県	39	53.8%	43.6%	51.3%	23.1%	17.9%	35.9%	30.8%	
	滋賀県	57	47.4%	19.3%	12.3%	8.8%	12.3%	21.1%	24.6%	
関西	京都府	153	40.5%	20.9%	20.9%	14.4%	16.3%	35.9%	15.0%	
	大阪府	419	37.2%	11.0%	16.9%	8.8%	12.8%	37.2%	7.2%	
	兵庫県	281	39.8%	18.9%	13.5%	7.8%	14.9%	29.2%	13.9%	
	奈良県	56	39.3%	17.9%	3.6%	5.4%	5.4%	25.0%	12.5%	
	和歌山県	27	40.7%	33.3%	7.4%	3.7%	11.1%	48.1%	48.1%	
中国	鳥取県	13	76.9%	46.2%	23.1%	15.4%	15.4%	46.2%	61.5%	
	島根県	13	30.8%	30.8%	23.1%	15.4%	0.0%	23.1%	23.1%	
	岡山県	90	41.1%	33.3%	22.2%	4.4%	13.3%	23.3%	30.0%	
	広島県	160	53.8%	32.5%	21.9%	15.0%	8.8%	35.0%	30.0%	
	山口県	30	50.0%	40.0%	6.7%	13.3%	6.7%	16.7%	40.0%	

長野県民は地元と思う範囲が長野県のみという特性があり、また自然豊かで空気が綺麗との意見が90.2%あり郷土愛が他の地域より強く感じられる。

また親の近くでの生活を学生が望む割合が高く、郷土同様、家族を大切にする思いが感じられる。

【保護者の思い】

・関わり方 (全国)

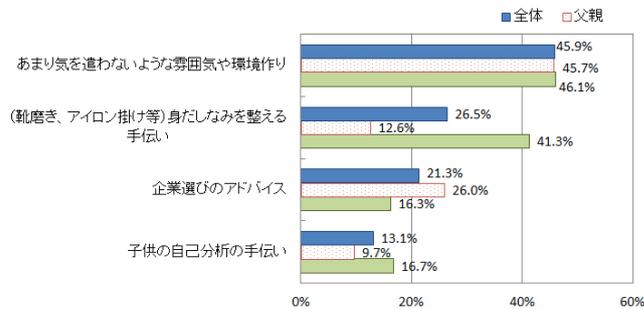
就職活動を行う子どもの保護者は、「経営が安定している企業 (46.2%)」「新卒入社で会社で正社員として長く勤務することを望む(39.1%)」声が多数あるが、一方で「子どもが決めたのならどんな働き方でも良い(36.1%)」「本人の希望や意思に沿っている(28.7%)」という保護者も多く、金銭支援以外の子供への就職支援は「アドバイス」よりも「気を遣わないような雰囲気や環境づくり」が多く、保護者は子どもの自主性を尊重する傾向がある。(2018年度マイナビ就職活動に対する保護者の意識調査より)

← → C mynavi.jp/news/2018/12/post\_18673.html



◆金銭的支援以外での子どもへの就職支援は「アドバイス」よりも「気を遣わないような雰囲気や環境づくり」が多く、保護者は子どもの自主性を尊重する傾向  
 金銭的支援以外で、子どもへの就職支援として行ったことを聞いたところ、「あまり気を遣わないような雰囲気や環境づくり (45.9%)」が最も多く、「身だしなみを整える手伝い (26.5%)」、「企業選びのアドバイス (21.3%)」と続いた。また子どもの就職活動環境について、「楽な環境 (多少+かなり)」と答えた保護者は38.5%と前年度と比較して4.0pt増加し、売り手市場が就活生の保護者にも徐々に浸透していることがわかる。昨今、企業から保護者への子どもの入社承諾可否を確認する「オヤカク」が目を集めているが、一方で親は子どもの自主性を尊重して就職活動のサポートをしていることがうかがえる。

＜(金銭的支援以外で) 子どもへの就職支援として行ったこと＞

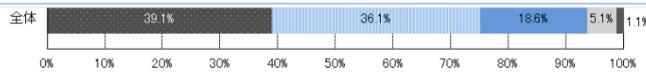
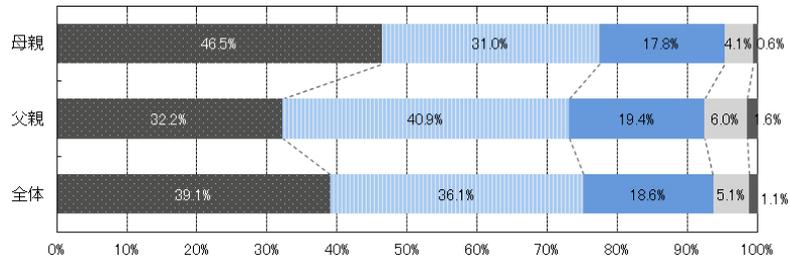


※1 有効回答数650のうち上位を獲得票数順に表示  
 ※2 官公庁、地方自治体等はすべて公務員として集計

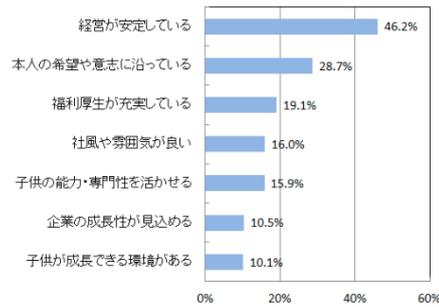
社会人としての子どもの働き方については、「新卒で入社した会社で正社員として長く勤めてほしい」が39.1%。続いて「子どもが決めたのならどんな働き方でもよい」が僅差の36.1%で続いている。父親は、「子どもが決めたのなら、どんな働き方でもよい（40.9%）」が最も多く、母親は「新卒で入社する会社で正社員として長く勤めてほしい（46.5%）」が最も多く、母親のほうが子どもの新卒終身雇用を望む気持ち強いことが分かる。また、入社して欲しい企業の特徴としては、約半数の親が「経営が安定している（46.2%）」を挙げており、多くの保護者は子どもの就職先に「経営の安定」を重視しており、「安定＝公務員・大企業」というイメージがランキングに反映していると思われる。

<子どもの社会人としてのこれからについて望むこと>

- 新卒で入社する会社で正社員として長く勤めてほしい
- 子供が決めたのなら、どんな働き方でもよい
- キャリアを優先して転職してもよい
- 自分に適した働き方を優先していけば正社員でなくてもよい
- いずれは独立など、一国一城の主となってほしい



<入社して欲しい企業の特徴>



上伊那の特徴としては、保護者が U ターンを望む（やや望む+強く望む）が 75%となっているが、他より暮らしやすい（23%）、子どもが希望しているから（22%）という理由が多く、他地域での就職を子どもが考えている場合でも子どもの自主性に任せる姿勢が見受けられ、全国の調査と差がないと感じる。

・どんな会社で働いて欲しいか

全国調査では経営の安定を求める声が 1 位で 46.2%、

上伊那は経営の安定と子どもの専門性が活かせる仕事が共に 21%で 1 位（子どもの専門性を重視は全国では 15.9%）であることから、

上伊那の保護者は子どもの適性にあった仕事を望んでいることがわかる。

## 【学生と保護者の関わり】

saponet.mynavi.jp/wp/wp-content/uploads/2019/05/【リリース】20年卒マイナビ大学生Uターン・地元就職に関する調査\_.pdf

### データ集(地元・地元外進学男女別)

(12) これまでに両親や親族に就職の相談をしたことはありますか。【SA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	19年卒全体
回答数	7,734	1,183	2,380	1,493	2,678	7,127
相談したことがある	78.1%	73.1%	86.2%	73.1%	82.2%	78.6%
相談したことがない	21.9%	26.9%	13.8%	26.9%	17.8%	21.4%

### ▼(12)で両親や親族に就職の相談をしたことがある方のみ回答

(13) 主に親族の誰に相談しましたか。【SA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	19年卒全体
回答数	6,209	865	2,051	1,091	2,202	5,695
父親	25.9%	32.5%	15.3%	35.5%	18.5%	28.2%
母親	63.5%	57.3%	74.4%	54.3%	70.1%	61.4%
兄弟姉妹	8.1%	6.7%	8.8%	7.2%	9.4%	7.7%
祖父母	1.2%	1.3%	0.7%	1.8%	0.7%	1.1%
祖父母以外の親戚	1.4%	2.2%	0.8%	1.2%	1.2%	1.5%

(14) 両親や親族からアドバイスを受けたことが、あなたの就職活動に影響すると思いますか。【SA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	19年卒全体
回答数	6,183	850	2,004	1,088	2,198	5,662
大きく影響すると思う	20.6%	18.5%	22.2%	20.8%	20.5%	19.3%
多少影響すると思う	57.7%	57.9%	57.9%	56.0%	59.3%	58.8%
あまり影響しないと思う	19.5%	21.9%	17.9%	20.3%	18.2%	19.9%
全く影響しないと思う	2.2%	1.7%	1.9%	2.9%	2.0%	2.0%

### ▼(14)で「大きく影響を受けた」「多少は影響を受けた」と回答した方のみ回答

(15) 両親や親族からのアドバイスを受けて地元(Uターン含む)就職に対する考え方はどう変わりましたか。【SA】

	全体	地元進学男子	地元進学女子	地元外進学男子	地元外進学女子	19年卒全体
回答数	4,788	650	1,591	826	1,721	4,333
強く地元就職を意識するようになった	20.2%	21.7%	29.5%	16.5%	13.9%	19.1%
多少地元就職を意識するようになった	44.5%	48.0%	43.9%	43.2%	43.3%	44.0%
あまり地元就職を意識しなくなった	24.3%	22.3%	20.1%	26.3%	28.1%	26.0%
全く地元就職を意識しなくなった	11.0%	8.0%	6.5%	14.0%	14.6%	10.9%

学生が就職活動で親に相談する率は全国で78.1%。(20年卒マイナビ大学生Uターン・地元就職に関する調査より)

上伊那の調査でも(頻繁にしている+どちらかというとしている)78%と出ており親子間のやりとりがあることがわかる。

(全国調査)

保護者への相談が就職活動への影響が(大きく影響する+多少影響すると思う)あると答えたのは地元外進学男子が76.4%、地元外進学女子が80.1%、また相談後に地元(Uターン含む)就職を(強く+多少)意識するようになったのは地元外進学男子が69.7%、地元外進学女子が73.4%いることから保護者とのやり取りが地元就職へのきっかけになることがわかる。

反対に地元(Uターン含む)就職を(あまり+全く)意識しなくなったケースは地元外進学男子が30.3%、地元外進学女子が26.6%いるため、保護者の地元企業へのイメージが子どもに影響するのではないかと考えられる。

【学生がUターン就職を考える障害】

→横軸100%で表示

◎卒業高校都道府県別	回答数	地元までの 交通費	地元までの 距離・時間	やりたい仕事 がない	地元企業の 数が少ない	地元企業の 情報不足	学業とのスケ ジュール調整
全体	3,348	26.0%	14.4%	13.3%	10.8%	6.2%	5.2%
北海道	60	33.3%	23.3%	8.3%	3.3%	5.0%	3.3%
東北	34	32.4%	9.9%	17.6%	17.6%	2.9%	2.9%
岩手県	58	29.3%	17.2%	19.0%	6.9%	10.3%	3.4%
宮城県	64	28.1%	15.6%	12.5%	14.1%	7.8%	6.3%
秋田県	35	22.9%	20.0%	25.7%	8.6%	2.9%	0.0%
山形県	47	23.4%	6.4%	10.6%	17.0%	6.4%	8.5%
福島県	65	18.5%	13.8%	20.0%	15.4%	6.2%	6.2%
関東	97	21.6%	21.6%	11.3%	10.3%	7.2%	3.1%
茨城県	67	22.4%	10.4%	25.4%	14.9%	7.5%	10.4%
栃木県	73	28.8%	13.7%	15.1%	4.1%	12.3%	4.1%
群馬県	202	18.3%	12.4%	14.9%	12.9%	6.4%	5.0%
千葉県	150	16.7%	16.0%	16.7%	8.7%	6.7%	3.3%
東京都	109	31.2%	19.3%	4.6%	4.6%	4.6%	7.3%
神奈川県	170	17.6%	18.2%	6.5%	6.5%	5.9%	5.3%
甲信越	71	36.4%	9.9%	12.7%	9.9%	7.0%	1.4%
山梨県	25	16.0%	4.0%	24.0%	16.0%	12.0%	8.0%
長野県	80	33.8%	13.8%	16.3%	13.8%	2.5%	6.3%
東海	92	26.1%	10.9%	18.5%	15.2%	9.8%	3.3%
岐阜県	131	36.6%	13.0%	13.7%	7.6%	3.8%	4.6%
愛知県	141	36.2%	13.5%	8.5%	2.1%	7.1%	8.5%
三重県	88	23.9%	13.6%	17.0%	13.6%	8.0%	4.5%
北陸	62	19.4%	19.4%	16.1%	16.1%	3.2%	8.1%
富山県	48	37.5%	12.5%	10.4%	16.7%	6.3%	2.1%
石川県	33	21.2%	9.1%	30.3%	24.2%	0.0%	3.0%
福井県	61	21.3%	16.4%	9.8%	19.7%	11.5%	3.3%
関西	85	30.6%	16.5%	5.9%	5.9%	4.7%	7.1%
京都府	162	23.5%	15.4%	4.3%	1.9%	4.9%	10.5%
大阪府	167	22.2%	17.4%	12.6%	12.6%	7.8%	7.8%
兵庫県	58	22.0%	10.2%	15.3%	15.3%	5.1%	3.4%
奈良県	47	17.0%	12.8%	10.6%	25.5%	2.1%	2.1%
和歌山県	17	11.8%	17.6%	17.6%	29.4%	11.8%	0.0%
中国	22	22.7%	13.6%	13.6%	13.6%	13.6%	13.6%

交通費（長野県 33.8%／全国 26.0%）、地元までの距離・時間（長野県 13.8%／全国 14.4%）、やりたい仕事がない（長野県 16.3%／全国 13.3%）、地元の企業数が少ない（長野県 13.8%／全国 10.8%）が挙げられる。（20年卒マイナビ大学生Uターン・地元就職に関する調査より）

上伊那の保護者への調査でも地元就職を望まない理由として、適する企業や職がない（38%）という声があり、子ども同様親も魅力的な仕事が少ないと思っていることが伺える。

## 9) 上伊那の企業が行っている求人活動を踏まえ、今回のアンケート結果を元にした今後取り組むべき課題・方向性（専門家意見）

保護者が地元就職を望まない理由として挙げられた「適する企業や職がない」が上伊那の企業を知った上ででの回答であれば仕方がないが、どんな企業があるのか知らないでイメージで伝えているのであれば改善の余地がある。

保護者、または親子向けにどんな就活イベントがあったら参加したいかという設問で、企業・工場見学(22%)という意見があり、保護者自身も上伊那にどんな企業があるのか、どんな仕事をしているのか知りたいという思いが見られる。

アンケートの自由記述回答でも、「地元の企業の良さや、若者を積極的に採用し、育ててくれる企業を教えて欲しい」、「色々な企業や仕事があることを、もっとアピールしてもらえると、子ども達も地元に興味を持てると思います」、「子どもたちが働いてみたいと思う企業があれば、上伊那に戻ってくると思います」という声が上がっている。

中学校で行っているキャリアフェスに保護者も参加できるようにするなど、地域企業と保護者世代との交流の機会が増えると良い。

交通費がネックと考える学生は多く、今も実施している帰省に合わせた無料バスを走らせ、企業の説明会を行う学生と企業の出会いの場は有効になると考えられる。

地元就職を視野に入れてない学生にもアプローチできるチャンスになる。

時間距離を障害とする割合も一定層いるが、WEBセミナーやWEB面接を取り入れることが地元就職へ影響するかという調査では長野県出身の学生は「志望度に影響しない」54.9%の人が回答している。

しかし、新型コロナウイルスの影響で説明会をオンライン開催する企業が増えてきており、オンラインへの抵抗がなくなってくれば今後都市にいながら採用活動に参加できることは企業と学生の双方にメリットになる。学生側の障害である・交通費・地元までの時間距離・やりたい仕事がない(=知らないというケースは知る機会を得ることができる)を解消できる。

上伊那の企業でもオンラインセミナー、オンライン面接の機会を増やしていくことがUターン就職を増やすことに繋がると考えられる。オフライン面接では、都心にいる外国人留学生も交通費がかかってしまうため地方の企業へ就職したい気持ちはあるが、採用活動に参加できない現状があります。企業はオンラインでの採用活動ノウハウを習得するところといった理由で地方企業を受けられない学生にアプローチできるチャンスがあります。

### 【上伊那企業の魅力化プロジェクト】

現在地方高校で「高校魅力化プロジェクト」<https://miryokuka.com/#about>が行われており、地方の高校で学ぶ魅力を地域で一体となって創り、人口増、消費額、歳入額が増加するという効果が表れている。  
<https://www.kyoiku-press.com/post-210300/>

長野県の学生が地元(Uターン含む)就職を志望しない理由として「志望する企業がないから」という回答が47.7%、実現すれば地元就職するかもしれないものとして「働きたいと思うような企業が多くできる」が50.0%とある。

労働観のパラダイムシフトが起きている今、学生にとって就職したいと思われる企業がどのような企業であるかを調査、研究し、働き方を含めた上伊那企業の魅力化プロジェクトを推進していくことが学生のUターン就職に繋がるのではないかと考えられる。

中里 (2016) は新規学卒 U ターン就職に対する就職促進支援を調査しており、大学との地方自治体の協定による①地元企業・生活情報の周知②大学内で開催する合同企業説明会等の企業情報提供イベントの開催③出身県の学生向け就職情報提供サイトへの登録呼びかけ④保護者向け就職セミナーの開催⑤学生の U ターン就職に関わる情報交換の取り組みが大学にとっても学生を確保する効果があるためお互いに効果があるとしている。しかし地方県は自県の環境や暮らしやすさ等の情報提供は多いが、学生が求めているやりがいのある仕事の存在や、企業情報の提供が少ないとしている。

また、中里 (2016) は学生のニーズとして、「実家で生活することの経済的・生活的メリット」は大きいですが、「保護者の U ターン希望に応える」は低い数値で出ていることを指摘しているため、今後保護者への地元企業を知ってもらう機会の創出は良いが、あくまでも就職先の意思決定を行うのは子どもであり、親が誘導する形で U ターン就職に繋げる形は避けたほうが良いと考えられる。自分自身で意思決定することが自身のキャリアの満足、自己成長に繋がるということが調査からも分かっているため、アドバイス、情報提供に留めるのが良い。

米原・中原 (2015) は「親からの心理的な自立の不十分な若者が地元志向を強める傾向がある」という研究成果を出している。それを受けて平尾・田中 (2016) は大学生の地元志向とキャリア意識を調査し、「地元志向の学生は、総じてキャリア意識が低い。とりわけ『将来の活躍意欲』は顕著であり、仕事へのチャレンジや組織をリードする意欲という点では地元志向でない学生との差は大きい。」と述べている。この研究では地方の企業は意欲的に仕事に取り組んでくれる学生を期待しているが、地元志向の学生は期待する人物像とは異なる若者である可能性が高いことが考えられると述べられている。

長野県の学生が地元 (U ターン含む) 就職を希望する理由では「地元 (U ターン先) に貢献したいから (長野県 35.5% / 全国 23.8%)」「志望企業があるから (長野県 26.3% / 全国 21.4%)」「志望する職種があるから (長野県 14.5% / 全国 12.3%)」が全国平均より高くなっているため、地元就職を通して地域に貢献したいという思いが見られるが、「都会で生活する自信がないから (長野県 26.3% / 全国 17.3%)」という理由も一定数いるため、今後ますます学生時代のキャリア教育、就職活動において自己理解・仕事理解を行いながら、社会で生き抜く基礎力を身につけていくことが就職後の雇用のミスマッチを防ぐためにも大切になってくるだろう。

## 索引

中里弘穂 (2016) 「新規学卒 U ターン就職者に対する就職促進支援」『経済教育』35号, p64-70

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/ecoedu/35/35/35\\_64/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/ecoedu/35/35/35_64/_pdf/-char/ja)

平尾元彦・田中久美子 (2016) 「大学生の地元志向とキャリア意識」『キャリアデザイン研究』vol.12, p85-92

※米原・田中 (2015) は平尾・田中 (2016) の論文に記載されている内容

# お子様の就職に関する保護者様の意識調査

上伊那地域振興局

現在、大学・短大・専門学校等に在学中のお子様の就職について、保護者様のお考えをお伺いします。  
アンケートの質問は本紙の見開き両面にあり、問15までとなっております。

回答は本紙に直接ご記入いただき、同封の封筒で 2月27日(木)までに投函いただきますようお願いいたします。

特に指定のない場合は、該当する回答の番号を1つだけを「○」で囲んでください。

【問1】 本調査にご回答いただける方はどなたですか。

- 1:父親                                      2:母親                                      3:その他

【問2】 ご回答いただける方のご職業は何ですか。

- 1:会社役員                                      2:会社員                                      3:自営業・自由業                                      4:パート・アルバイト  
5:公務員・団体職員                                      6:主夫・主婦                                      7:無職                                      8:その他

【問3】 ご回答いただける方のお住まいの地域を選んでください。

- 1:伊那市                                      2:駒ヶ根市                                      3:辰野町                                      4:箕輪町                                      5:飯島町  
6:南箕輪村                                      7:中川村                                      8:宮田村                                      9:上伊那地域以外

問4～問8は、在学中のお子様が複数いらっしゃる場合、3人目までについてお答えください。

回答は、1人目から3人目までを年長順に、個別に枠内にご記入ください。

【問4】 現在、在学中のお子様の、続柄、在学学校、学部系統、学年、居住地域を選び、番号をご記入ください。

	続柄	在学学校	学部系統	学 年	居住地域
1 人 目					
2 人 目					
3 人 目					

《続 柄》1:長男 2:次男 3:三男 4:長女 5:次女 6:三女 7:その他

《在 学 校》1:大学院 2:大学 3:短期大学 4:専門学校 5:職業訓練校・短期大学校  
6:その他(予備校を含む)

《学部系統》1:理系 2:文系 3:医療・福祉系 4:芸術系 5:その他

《学 年》1:1年 2:2年 3:3年 4:4年 5:5年 6:6年 7:その他(研究生含む)

《居住地域》1:上伊那地域 2:長野県内(上伊那地域を除く) 3:北海道・東北

4:東京・埼玉・千葉・神奈川 5:茨城・栃木・群馬・山梨 6:北陸

7:東海 8:関西 9:中国・四国 10:九州・沖縄 11:海外

(裏面へ続きます)

【問5】 保護者として、新卒時、お子様の上伊那地域での就職を望みますか。

1人目		2人目		3人目	
-----	--	-----	--	-----	--

1:強く望む 2:やや望む 3:あまり望まない 4:望まない 5:わからない

問5で、「1:強く望む」、「2:やや望む」のお子様がいいらっしゃる方にお伺いします

【問6-1】 新卒時に、上伊那地域での就職を望む理由は何ですか。

1人目		2人目		3人目	
-----	--	-----	--	-----	--

- 1:後継ぎである 2:自分たちの面倒を見てほしい 3:一緒に住みたい  
4:故郷である 5:他より暮らしやすい 6:適する企業や職がある  
7:地元就職への支援策がある 8:お子様が上伊那地域での就職を希望している  
9:その他(具体的に記載してください:\_\_\_\_\_)

【問6-2】 お子様在上伊那地域以外での就職を希望した場合、どのような行動をとりますか。

1人目		2人目		3人目	
-----	--	-----	--	-----	--

- 1:上伊那地域で就職するよう説得する 2:上伊那地域での就職先も探すようアドバイスする  
3:お子様の意思に任せる  
4:その他(具体的に記載してください:\_\_\_\_\_)

問5で、「3:あまり望まない」、「4:望まない」のお子様がいいらっしゃる方にお伺いします

【問7-1】 新卒時に、上伊那地域での就職を望まない理由は何ですか。

1人目		2人目		3人目	
-----	--	-----	--	-----	--

- 1:後継ぎではない 2:自分たちのことで面倒をかけたくない 3:一人暮らしをさせたい  
4:色々な場所を知ってほしい 5:他より暮らしにくい 6:適する企業や職がない  
7:地元就職への支援策がない 8:お子様が上伊那地域での就職を希望していない  
9:その他(具体的に記載してください:\_\_\_\_\_)

【問7-2】 いずれは上伊那地域での就職を望みますか。

1人目		2人目		3人目	
-----	--	-----	--	-----	--

1:強く望む 2:やや望む 3:あまり望まない 4:望まない 5:わからない

問7-2で、「1:強く望む」、「2:やや望む」のお子様がいいらっしゃる方にお伺いします

【問7-3】 どの時期に上伊那地域で就職してほしいと思いますか。

1人目		2人目		3人目	
-----	--	-----	--	-----	--

- 1:結婚 2:出産 3:子育て 4:転職 5:定年 6:独立開業 7:家業の後継 8:その他  
※具体的な年齢を想定されている場合、年齢を回答欄にご記入ください。

以下の質問は、すべての方にお伺いします

【問8】 お子様は、新卒時、上伊那地域での就職を望むと思いますか。

1人目		2人目		3人目	
-----	--	-----	--	-----	--

1:強く望むと思う 2:やや望むと思う 3:あまり望まないと思う 4:望まないと思う 5:わからない

【問9】 お子様の就職に、どの程度、関心がありますか。

1:関心がある 2:やや関心がある 3:あまり関心がない 4:関心がない 5:どちらとも言えない

【問10】 お子様と、働くことや就活について普段から会話(チャット等を含む)をしていますか。

1:頻繁にしている 2:どちらかといえばしている 3:あまりしていない 4:まったくしていない

【問11】 お子様の進路に対して影響力があるのは、誰だと思いますか。

1:父親 2:母親 3:兄・姉 4:祖父母

5:その他(具体的に記載してください: \_\_\_\_\_)

【問12】 お子様の就職先に求める(期待する)ものは何ですか。あてはまるものを2つお選びください。

- |                          |               |
|--------------------------|---------------|
| 1:経営が安定している              | 2:成長が見込める     |
| 3:規模が大きい、知名度が高い          | 4:給与や賞与が高い    |
| 5:福利厚生が充実している            | 6:社風や雰囲気が良い   |
| 7:お子様の能力・専門性を活かせる        | 8:勤務場所(立地)が良い |
| 9:お子様の希望や意思に沿っていればどこでもよい |               |

10:その他(具体的に記載してください: \_\_\_\_\_)

【問13】 上伊那地域で開催される就活イベントに参加したことはありますか。

1:単独で参加したことがある 2:お子様と一緒に参加したことがある 3:参加したことはない

【問14】 上伊那地域で、保護者又は親子向けに次の就活イベントがあったら、参加したいと思いますか。

参加したいと思うものをお選びください。(複数回答可)

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1:経営者による企業紹介   | 2:OB・OG(卒業生)による企業紹介 |
| 3:企業(工場)見学     | 4:就職状況等の説明会         |
| 5:保護者と社員との意見交換 | 6:地元就職支援策の説明会       |

7:その他(具体的に記載してください: \_\_\_\_\_)

8:参加したくない

(裏面へ続きます)

【問 15】 これからの就職活動で必要と考える取組や支援があれば、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。